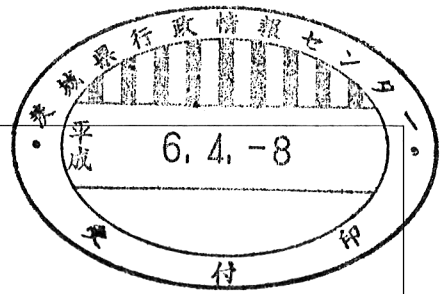


目 次

歳時記	1
今月の主な動き	2
調査から 平成5年分(1月~12月)毎月勤労統計調査結果速報	5
平成5年平均茨城県消費者物価指数の動向(速報)	12
統計の窓 統計調査と負担軽減	16
主要経済指標	18
人口	
1. 世帯, 人口および人口移動	20
2. 市町村別人口と世帯	20
労働	
3. 産業別賃金指数(現金給与総額)	22
4. 産業別雇用指数	22
5. 産業別労働時間(総実労働時間)	23
6. 職業紹介状況	23
農業	
7. 農産物の平均販売価格	24
鉱工業・エネルギー	
8. 鉱工業指数(季節調整済指数)	25
9. 産業別電力消費量	28
10. 石油製品販売量	28
金融・経済	
11. 金融機関別実質預金・貸出残高	29
12. 県内金融経済	30
13. 企業倒産状況	30
家計・物価	
14. 家計主要指標(水戸市・全国)	31
15. 1ヵ月1世帯当たりの実収入および実支出 (水戸市, 勤労者世帯)	32
16. 消費者物価指数(水戸市)	33
17. 卸売物価指数(全国)	34
福祉	
18. 生活保護	34
19. 消費生活相談	35
建築	
20. 建築主別建築着工	35
21. 着工新設住宅(利用関係別)	36
その他	
22. レジャー状況	36
23. 交通事故発生件数	37
24. 自動車保険請求相談	37
25. 刑法犯罪発生件数	38
26. 火災発生件数	38
ふれあい 「編集後記」	39
新着資料案内	40
統計ニュース	41

利用上の注意

1. 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入
2. 「年」は暦年, 「年度」は4月から翌年の3月まで
3. 記号
 - 零または該当数字のないもの
 - 0 該当数字が掲載単位未満のもの
 - … 不詳のもの
 - p 暫定数字
 - r 訂正数字
 - △ 減少または出超
 - x 秘密保持のため掲載をひかえたもの



ツバキ (椿)

木偏に春と書くツバキは、春の訪れの喜びを伝える木ということで、万葉の昔から人々に慕われ、茶花としてもよく使われる上品な花木です。

ツバキという名称は、葉に光沢があるため“艶葉木”から転じたという説、葉が厚いことから“厚葉木”の転じたもの、常緑であるため“寿葉木”の転じたものなど、葉の特徴を語源とする説が多くあります。

花の底に蜜を分泌し、メジロなどがこれを吸いにきて花粉をまき散らす、日本では珍しい“鳥媒花”のひとつで、栽培品種は、花色・花型とも多様です。

「川上のつらつら椿つらつらに

見れども飽かず巨勢の春野は」

春 甘 蔵 首 老

茨 城 県
行 政 資 料

■ 調査から

間で前年比3.1%減(前年はもちあい)、所定外労働時間(残業等)が10.7時間で前年比9.8%減(前年は16.2%減)であった。

年間の1人平均でみると、調査産業計(サービス業を含む)において、総実労働時間で1,902時間となり前年差60時間減、出勤日数で239日となり前年差5日減となった。

総実労働時間の年間の1人平均を産業別にみると、最も多いのが運輸・通信業の2,167時間、最も少ないのが卸売・小売業、飲食店の1,758時間で、その差は409時間となった。

就業形態別の総実労働時間をみると、一般労働者は169.4時間となり、パートタイム労働者は95.4時間となった。

事業所規模30人以上

1人1ヵ月平均の総実労働時間は、調査産業計(サービス業を含む)で160.2時間となり前年比3.0%減(前年は3.2%減)となった。

内訳をみると、所定内労働時間が146.8時間で前年比2.4%減(前年は1.4%減)、所定外労働時間(残業等)が13.4時間で前年比10.3%減(前年は18.1%減)であった。

表-1

区 分		調 査 産 業 計 (Lを含む)	調 査 産 業 計 (Lを除く)	建 設 業	製 造 業	
現 金 給 与	5 人 以 上	平成元年	—	—	—	—
		2	311 760	303 114	335 465	311 521
		3	328 080	317 683	318 716	337 881
		4	340 187	327 795	346 551	335 741
		5	347 503	335 574	339 115	348 419
与 総 額	30 人 以 上	平成元年	338 117	329 600	317 053	332 514
		2	355 816	346 471	370 332	349 488
		3	378 522	371 043	412 701	374 619
		4	385 614	375 094	434 275	374 295
		5	389 149	379 118	396 517	384 251

表-2

き ま つ て 支 給 す る 給 与	5 人 以 上	平成元年	—	—	—	—
		2	238 572	234 914	259 102	241 009
		3	251 143	246 853	252 833	256 830
		4	260 671	254 039	289 707	256 616
		5	267 049	260 900	283 815	267 528
与 総 額	30 人 以 上	平成元年	254 957	250 090	250 451	252 610
		2	265 301	260 713	285 114	264 351
		3	279 685	276 724	304 901	277 340
		4	286 357	280 997	327 985	279 548
		5	291 515	285 391	312 655	288 394

年間の1人平均でみると、調査産業計(サービス業を含む)において、総実労働時間で1,922時間となり前年差72時間減、出勤日数で235日となり前年差5日減となった。

総実労働時間の年間の1人平均を産業別にみると、最も多いのが運輸・通信業の2,197時間、最も少ないのが卸売・小売業、飲食店の1,751時間で、その差は446時間となった。

就業形態別の総実労働時間をみると、一般労働者は167.9時間となり、パートタイム労働者は94.7時間となった。

3. 雇 用

事業所規模5人以上

1ヵ月平均の常用労働者数は、調査産業計(サービス業を含む)で818,880人となり前年比0.3%減(前年は1.2%増)となった。

事業所規模30人以上

1ヵ月平均の常用労働者数は、調査産業計(サービス業を含む)で502,309人となり前年比0.8%増(前年は2.5%増)となった。

(統計課・人口労働グループ)

- (注) 1. Lとはサービス業のことである。
 2. 電気・ガス業とは、電気・ガス・熱供給・水道業のことである。
 3. 卸売・小売業とは、卸売・小売業、飲食店のことである。
 4. 実数は、常用労働者数は1ヵ月の平均値であり、その他は、1人1ヵ月の平均値である。

表一1 つづき

(単位：円)

電気・ガス業	運輸・通信業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業
—	—	—	—	—	—
546 191	360 437	227 777	404 543	291 810	341 051
533 518	354 859	225 571	466 822	404 236	364 390
550 734	365 344	261 024	447 703	363 274	381 657
531 937	391 429	240 829	472 649	325 059	382 470
512 786	373 334	238 453	376 922	351 584	364 938
546 191	388 082	239 116	400 430	338 199	385 544
538 793	378 372	273 975	475 740	443 051	404 292
582 413	380 052	296 585	487 471	421 337	420 621
561 766	421 481	256 719	487 699	449 918	416 864

表一2 つづき

(単位：円)

—	—	—	—	—	—
386 459	274 199	187 253	276 129	215 391	250 964
389 276	284 353	189 147	328 875	299 557	266 125
391 768	285 891	208 613	309 487	279 681	282 863
388 746	295 852	197 604	333 005	272 185	285 073
363 560	280 088	187 962	267 642	259 275	270 261
386 459	289 976	186 094	267 195	243 474	279 897
390 829	297 070	213 986	330 290	295 664	289 888
414 853	295 021	226 279	343 070	301 366	304 194
406 576	322 230	197 574	347 704	322 879	308 434

■ 調査から

表-3

区 分			調査産業計 (Lを含む)	調査産業計 (Lを除く)	建設業	製造業
特別に 支払 われた 給与	5 人 以 上	平成元年	—	—	—	—
		2	73 188	68 200	76 363	70 512
		3	76 937	70 830	65 883	81 051
		4	79 516	73 756	56 844	79 125
		5	80 454	74 674	55 300	80 891
	30 人 以 上	平成元年	83 160	79 510	66 602	79 905
		2	90 515	85 758	85 218	85 137
		3	98 837	94 319	107 800	97 279
		4	99 257	94 097	106 290	94 747
		5	97 634	93 727	83 862	95 857

表-4

総 実 労 働 時 間 数	5 人 以 上	平成元年	—	—	—	—
		2	168.8	170.7	177.4	173.8
		3	166.4	166.5	163.9	171.8
		4	163.5	163.4	167.9	160.4
		5	158.5	160.2	165.0	162.0
	30 人 以 上	平成元年	176.2	178.2	181.0	179.7
		2	173.1	175.4	178.6	177.3
		3	171.0	172.6	178.6	174.2
		4	166.2	167.5	173.8	168.5
		5	160.2	162.8	166.6	163.8

表-5

所 定 内 労 働 時 間 数	5 人 以 上	平成元年	—	—	—	—
		2	154.2	154.7	165.7	153.9
		3	152.3	151.4	154.1	153.1
		4	151.9	151.3	159.4	152.0
		5	147.8	148.8	158.7	149.3
	30 人 以 上	平成元年	157.4	157.6	164.8	156.8
		2	154.4	155.1	163.8	154.6
		3	152.8	152.5	161.1	152.4
		4	151.3	151.4	155.9	151.6
		5	146.8	148.4	156.0	149.3

表-3 つづき

(単位：円)

電気・ガス業	運輸・通信業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業
—	—	—	—	—	—
159 732	86 238	40 524	128 414	76 419	90 087
144 242	70 506	36 424	137 947	104 679	98 265
158 966	79 453	52 411	138 216	83 593	98 794
143 191	95 577	43 225	139 644	52 874	97 397
149 226	93 247	50 491	109 280	92 309	94 676
159 732	98 106	53 022	133 235	94 725	105 647
147 964	81 302	59 989	145 450	147 387	114 404
167 560	85 031	70 306	144 401	119 971	116 427
155 190	99 251	59 145	139 995	127 039	108 430

表-4 つづき

(単位：時間)

—	—	—	—	—	—
168.9	183.0	159.1	157.6	171.6	162.4
162.7	184.5	152.2	149.3	165.6	166.2
158.7	181.1	149.9	152.1	171.6	164.1
158.1	180.6	146.5	150.5	170.5	153.9
169.5	190.8	165.6	155.7	177.9	170.1
168.9	188.0	157.2	156.3	172.1	166.0
159.4	184.9	158.7	148.3	172.4	165.3
158.1	180.3	156.2	146.8	165.3	161.7
158.2	183.1	145.9	148.0	156.0	153.1

表-5 つづき

(単位：時間)

—	—	—	—	—	—
148.4	160.5	150.6	151.3	164.6	152.6
148.7	159.5	145.0	143.8	155.2	155.6
147.7	159.6	144.0	146.1	161.9	153.9
144.5	155.9	141.1	141.8	164.0	145.1
148.0	166.2	156.4	148.8	161.9	156.6
148.4	163.1	148.9	151.8	158.4	152.1
146.9	157.0	149.6	141.9	158.2	153.8
147.0	155.9	148.9	140.7	154.3	150.9
143.9	152.8	140.9	139.7	145.3	142.6

■ 調査から

表一6

区 分			調査産業計 (Lを含む)	調査産業計 (Lを除く)	建設業	製造業
所定外労働時間数	5人以上	平成元年	—	—	—	—
		2	14.6	16.0	11.7	19.9
		3	14.1	15.1	9.8	18.7
		4	11.6	12.1	8.5	14.4
		5	10.7	11.4	6.3	12.7
	30人以上	平成元年	18.9	20.6	16.2	22.9
		2	18.7	20.3	14.8	22.7
		3	18.2	20.1	17.5	21.8
		4	14.9	16.1	17.9	16.9
		5	13.4	14.4	10.6	14.5

表一7

出勤日数	5人以上	平成元年	—	—	—	—
		2	20.8	20.7	21.6	20.3
		3	20.6	20.5	20.4	20.2
		4	20.3	20.2	20.9	20.0
		5	19.9	19.9	20.7	19.7
出勤日数	30人以上	平成元年	20.9	20.8	21.7	20.4
		2	20.5	20.5	21.6	20.1
		3	20.2	20.1	21.4	19.9
		4	20.0	19.9	20.9	19.7
		5	19.6	19.7	20.4	19.5

表一8

常用労働者数	5人以上	平成元年	—	—	—	—
		2	782 246	603 977	53 357	313 708
		3	787 456	611 828	52 490	318 776
		4	790 682	608 523	53 681	315 657
		5	818 880	610 481	62 606	313 760
	30人以上	平成元年	454 894	345 198	14 408	236 415
		2	461 865	351 460	14 374	239 407
		3	460 048	356 450	14 213	243 191
		4	464 112	356 738	14 632	242 002
		5	502 309	368 768	16 266	245 736

表一六 つづき

(単位：時間)

電気・ガス業	運輸・通信業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業
—	—	—	—	—	—
20.5	22.5	8.5	6.3	7.0	9.8
14.0	25.0	7.2	5.5	10.4	10.6
11.0	21.5	5.9	6.0	9.7	10.2
13.6	24.7	5.4	8.7	6.5	8.8
21.5	24.5	9.2	6.9	16.0	13.5
20.5	24.9	8.3	4.5	13.7	13.9
12.5	27.9	9.1	6.4	14.2	11.5
11.1	24.4	7.3	6.1	11.0	10.8
14.3	30.3	5.0	8.3	10.7	10.5

表一七 つづき

(単位：日)

—	—	—	—	—	—
19.6	21.3	21.4	19.7	21.6	20.9
19.7	20.9	21.1	19.6	21.1	20.8
19.6	20.8	20.2	19.6	21.1	20.6
19.2	21.1	19.8	19.4	20.9	19.7
19.9	22.0	22.1	19.8	21.9	21.3
19.6	21.6	21.3	19.4	21.3	20.6
19.3	20.4	20.8	19.5	21.3	20.6
19.3	20.2	20.7	19.4	20.5	20.2
19.1	20.8	19.8	19.3	19.1	19.2

表一八 つづき

(単位：人)

—	—	—	—	—	—
4 144	56 097	147 500	24 583	3 519	178 269
5 457	56 106	149 093	24 940	3 865	175 628
5 299	56 627	147 578	24 686	3 877	182 160
5 733	59 912	134 817	29 757	3 706	208 399
4 216	35 990	38 828	14 113	1 054	109 696
4 144	38 755	39 515	13 873	1 210	110 405
4 145	38 467	41 034	13 919	1 301	103 597
4 005	38 862	41 981	13 750	1 323	107 374
4 422	37 234	47 303	16 249	1 374	133 541

平成5年平均 茨城県消費者物価指数の動向(速報)

—— 総合指数は対前年比1.3%の上昇 ——

概 況

平成5年平均茨城県消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数が106.5となり、前年平均に比べ(+1.3%)上昇した。

1. 最近の動き

最近の総合指数の動きを対前年上昇率で見ると、昭和60年秋からの円高の進行と原油安の下、61年(+0.4%)、62年(+0.1%)、63年(+0.7%)と、3年連続して1%未満の上昇にとどまり、極めて安定した動きで推移していたが、平成元年は4月から消費税が導入されたこともあって(+2.3%)の上昇となった後、2年は(+3.1%)の上昇、3年も台風や長雨等の天候不順により(+3.2%)の上昇と、2年続けて3%台の上昇率となった。

平成4年は前年とは一転してほぼ1年を通じて天候に恵まれたことで生鮮野菜などの生鮮

商品の価格が安定したことに加え、食料工業製品、ガソリンなどの「その他の工業製品」の上昇幅が縮小したことなどにより(+1.8%)の上昇と、昭和63年以来4年ぶりに2%を下回った。

平成5年は(+1.3%)と1%をわずかに上回る安定した動きとなり、上昇幅は前年(1.8%)に比べ0.5ポイント縮小した。

これは、長雨、日照不足等の天候不順により生鮮野菜や米類などが高騰したものの、生鮮魚介、生鮮果物がほぼ1年を通じ前年を下回る価格で推移したこと、教養娯楽サービスや保健医療サービスなどのサービスの上昇幅が縮小したことなどが主な要因である。

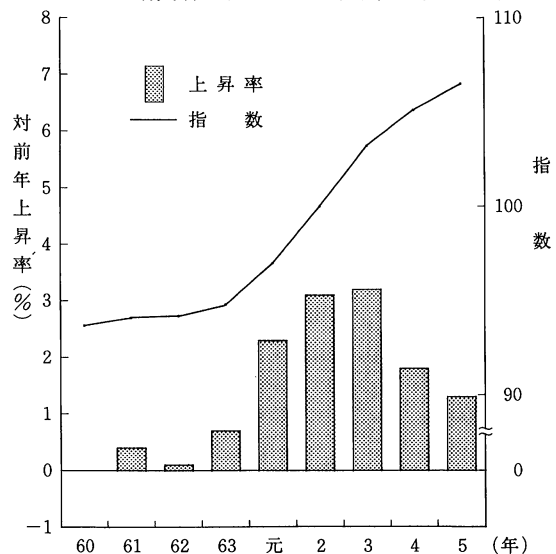
なお、生鮮食品を除く総合指数を対前年上昇率で見ると(+1.5%)の上昇となり、上昇幅は前年(2.4%)に比べ0.9ポイント縮小した。

(注)「生鮮食品」とは生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物、生鮮肉、切り花類をいいます。

表一 総合指数と対前年上昇率の推移
(平成2年=100)

年	総合指数			
	帰属家賃を含む		帰属家賃を除く	
	指数	対前年 上昇率 (%)	指数	対前年 上昇率 (%)
昭和57年	—	—	88.2	2.9
58	—	—	90.2	2.2
59	—	—	92.1	2.1
60	93.7	—	94.3	2.4
61	94.1	0.4	94.5	0.3
62	94.2	0.1	94.4	△0.1
63	94.8	0.7	94.9	0.5
平成元年	97.0	2.3	97.0	2.2
2	100.0	3.1	100.0	3.1
3	103.2	3.2	103.2	3.2
4	105.1	1.8	105.0	1.6
5	106.5	1.3	106.0	1.1

図一 消費者物価指数及び対前年上昇率の推移



表一 総合指数

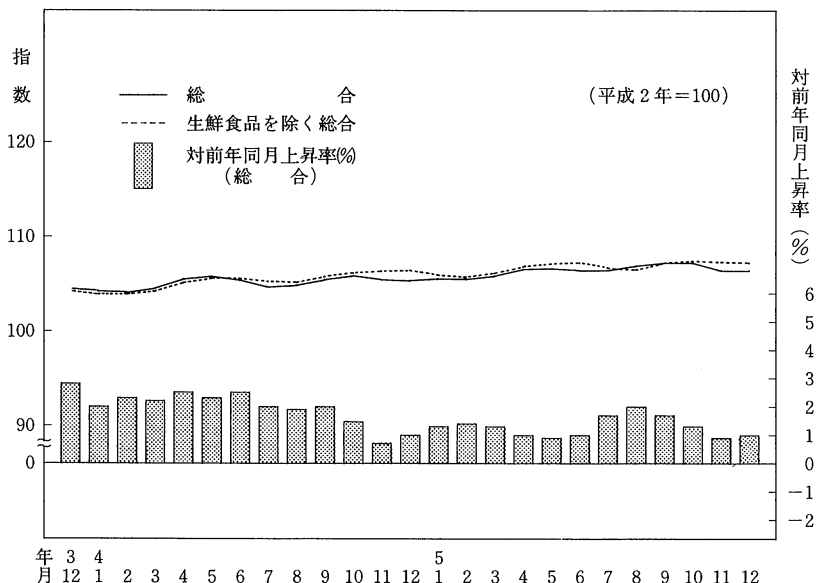
(平成2年=100)

区分	茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	下館市	取手市	全国	東京都区部
昭和62年平均	94.2	94.7	93.8	94.5	93.3	93.9	94.4	94.2	93.5
63	94.8	95.2	94.7	95.2	93.7	94.6	94.8	94.9	94.5
平成元年平均	97.0	97.0	97.0	97.1	96.6	97.2	96.9	97.0	97.0
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	103.2	103.1	103.4	102.5	103.2	102.5	103.9	103.3	103.3
4	105.1	105.1	106.1	104.0	105.0	104.4	104.9	105.0	105.3
5	106.5	106.2	108.0	105.0	106.5	105.6	106.1	106.4	106.6
平成5年1月	105.6	105.5	106.9	104.1	105.6	104.9	105.2	105.3	105.3
2	105.6	105.4	107.0	104.3	105.7	104.9	104.9	105.4	105.4
3	105.9	105.6	107.3	104.8	106.0	105.2	104.9	105.7	105.9
4	106.6	106.3	108.3	105.3	106.3	105.5	106.2	106.4	106.5
5	106.7	106.7	108.1	105.4	106.6	105.7	106.4	106.5	106.9
6	106.5	106.2	108.0	104.9	106.6	105.6	106.3	106.4	106.7
7	106.5	106.2	107.9	104.9	106.8	105.5	106.3	106.7	107.0
8	107.0	106.6	108.6	105.7	107.1	105.7	106.8	107.0	107.3
9	107.3	106.7	109.2	105.6	107.1	106.6	106.7	107.1	107.3
10	107.3	107.1	108.9	105.3	107.2	106.5	106.8	107.0	107.2
11	106.5	106.1	108.2	104.6	106.6	105.4	106.2	106.4	106.5
12	106.5	106.2	108.0	104.9	106.7	105.3	106.4	106.5	106.7

2. 月別の動き

この1年間における月別の総合指数の動きを対前年同月上昇率で見ると、生鮮野菜、生鮮果物が安値で出回ったことなどにより1月(+1.3%、2月(+1.4%、3月(+1.3%と1%前半で推移し、4月以降も6月までは4月(+1.0%、5月(+0.9%、6月(+1.0%と1%以下の低い水準で推移した。

図一 消費者物価指数と対前年上昇率の推移



■ 調査から

しかし、7月は夏場の冷夏、長雨、日照不足等の影響により生鮮野菜が高騰したことなどにより(+1.7%、8月も(+2.0%の上昇となった。

9月以降は生鮮野菜等の生育が徐々に回復したこともあって9月(+1.7%、10月(+1.3%と上昇幅が縮小した。

11月は夏場の天候不順の影響で米類の上昇が見られたもののNTTの市外通話料値下げや生鮮野菜の上昇幅がさらに縮小したこともあって(+0.9%と1%を下回る上昇となった。

3. 10大費目別の動き

10大費目別指数の主な動きを対前年上昇率で見ると、教育は授業料などの上昇により

(+3.8%、住居は家賃などの上昇により(+3.4%と3%を超える上昇となった。

被服及び履物は衣料などの上昇により(+2.7%、教養娯楽は教養娯楽サービスなどの上昇により(+1.5%それぞれ上昇した。

このほか、保健医療は(+0.8%、諸雑費は(+0.7%、家具・家事用品及び交通通信はそれぞれ(+0.4%、食料及び光熱・水道はそれぞれ(+0.2%と1%を下回る低い上昇となった。

なお、総合指数の対前年上昇率が前年に比べ0.5ポイント縮小した主な要因を10大費目別にみると、食料、住居、教養娯楽などの上昇幅が縮小したことによるものである。

(統計課・消費生活グループ)

〔付表〕 商品のこの1年における上昇・下落上位品目

上 昇		下 落	
品 目	上 昇 率 (%)	品 目	上 昇 率 (%)
1. あずき	58.8	1. 婦人雑誌	△ 38.5
2. レタス	54.0	2. グレープフルーツ	△ 28.9
3. だいず	51.8	3. レンジ台	△ 28.1
4. キャベツ	42.2	4. りんご(ふじ)	△ 25.4
5. 学習机	41.8	5. かつお	△ 23.6
6. さといも	32.3	6. パナナ	△ 20.8
7. ベニヤ板	30.4	7. ごぼう	△ 20.2
8. 婦人スラックス(冬物)	29.3	8. キウイフルーツ	△ 19.8
9. はくさい	27.7	9. メロン(プリンス)	△ 19.0
10. 電気カーペット	25.1	9. オレンジ	△ 19.0
11. 電気かみそり	24.9	11. 整理だんす	△ 14.6
12. 紙おむつ	23.6	12. ミシン	△ 13.8
13. テープレコーダー	23.4	12. 台所用密閉容器	△ 13.8
14. やまのいも	22.8	14. た こ	△ 13.2
15. 洋服だんす	20.2	15. なつみかん	△ 12.9
16. 組立がん具	19.5	16. え び	△ 12.0
17. 子供Tシャツ(長袖)	18.4	17. ね ぎ	△ 11.9
18. スカート(冬物)	17.6	18. 婦人ブラウス(半袖)	△ 11.5
19. うなぎかば焼き	17.5	19. すいか	△ 11.4
20. もち米	17.3	20. まぐろ缶詰	△ 11.3

表一3 10大費目別指数（茨城県）

年 月	項 目	総												
		除 帰 食 住 光 家 履 保 交 教 教 諸 除 生 く 属 料 居 熱 家 被 健 通 育 養 雑 く 鮮 総 家 料 居 熱 事 服 医 通 育 養 雑 く 鮮 合 賃 料 居 熱 事 服 医 通 育 養 雑 く 鮮 合 を 合 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を 合 を	合	料	居	水道	品・	物	療	信	育	楽	費	合
ウ エ イ ト		10.000	9.072	2.982	1.438	487	464	874	292	1.325	532	1.149	457	9.477
指 数	昭和62年平均	94.2	94.4	93.8	92.2	99.6	99.0	92.9	97.4	97.7	88.7	92.5	97.1	94.9
	63	94.8	94.9	94.5	93.8	97.6	98.6	93.4	97.4	97.0	91.7	93.1	97.1	95.3
	平成元年平均	97.0	97.0	96.6	96.7	97.1	99.6	96.2	99.4	98.3	94.5	96.7	98.5	97.5
	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	3	103.2	103.2	104.6	103.6	102.5	100.6	104.6	99.9	100.8	102.4	103.8	101.2	102.8
	4	105.1	104.8	105.8	108.9	102.8	101.1	107.4	101.7	100.0	105.1	107.2	103.2	105.3
	5	106.5	106.0	106.0	112.6	103.0	101.5	110.3	102.5	100.4	109.1	108.8	103.9	106.9
	平成5年1月	105.6	105.2	105.5	110.8	103.1	101.4	107.2	101.6	100.6	106.1	108.1	104.4	106.0
	2	105.6	105.1	106.0	111.2	103.1	101.6	103.8	101.9	100.5	106.1	108.6	104.6	105.8
	3	105.9	105.4	106.1	111.3	103.2	101.3	105.9	102.4	100.6	106.1	108.7	104.7	106.2
	4	106.6	106.2	106.4	112.1	103.2	101.7	110.0	102.8	100.5	109.8	109.0	104.1	106.9
	5	106.7	106.2	105.8	113.0	103.2	101.6	112.0	102.8	100.5	110.1	108.8	103.8	107.2
	6	106.5	105.9	104.4	113.2	103.2	102.0	112.6	102.8	100.5	110.1	109.2	104.0	107.3
	7	106.5	105.8	105.9	113.3	103.1	100.9	108.5	102.6	100.5	110.1	108.9	103.9	106.8
	8	107.0	106.5	108.4	112.9	103.1	101.6	105.4	102.6	100.5	110.1	109.6	103.7	106.6
9	107.3	106.8	107.2	112.9	103.1	101.7	114.2	103.0	100.4	110.1	108.2	103.8	107.3	
10	107.3	106.8	106.7	113.3	103.1	101.8	114.7	102.6	100.5	110.1	108.8	103.2	107.5	
11	106.5	105.8	104.4	113.5	102.3	101.8	115.0	102.6	99.5	110.1	108.8	103.2	107.4	
12	106.5	105.9	105.0	113.5	102.1	100.5	114.0	102.6	99.6	110.1	108.9	103.1	107.3	
対 前 年 (月) 上 昇 率 (%)	昭和63年平均	0.7	0.5	0.7	2.6	△2.0	△0.4	0.5	0.0	△0.7	3.4	0.7	0.0	0.4
	平成元年平均	2.3	2.2	2.2	3.1	△0.5	1.0	3.0	2.0	1.3	3.0	3.8	1.5	2.3
	2	3.1	3.1	3.5	3.4	3.0	0.4	4.0	0.6	1.7	5.8	3.4	1.5	2.6
	3	3.2	3.2	4.6	3.6	2.5	0.6	4.6	△0.1	0.8	2.4	3.8	1.2	2.8
	4	1.8	1.6	1.1	5.1	0.3	0.5	2.7	1.8	△0.8	2.6	3.3	2.0	2.4
	5	1.3	1.1	0.2	3.4	0.2	0.4	2.7	0.8	0.4	3.8	1.5	0.7	1.5
	平成5年1月	0.2	0.2	1.8	0.0	0.1	1.0	△4.9	△0.3	0.2	0.0	△0.2	0.7	△0.5
	2	0.0	△0.1	0.5	0.4	0.0	0.2	△3.2	0.3	△0.1	0.0	0.5	0.2	△0.2
	3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	△0.3	2.0	0.5	0.1	0.0	0.1	0.1	0.4
	4	0.7	0.8	0.3	0.7	0.0	0.4	3.9	0.4	△0.1	3.5	0.3	△0.6	0.7
	5	0.1	0.0	△0.6	0.8	0.0	△0.1	1.8	0.0	0.0	0.3	△0.2	△0.3	0.3
	6	△0.2	△0.3	△1.3	0.2	0.0	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.1
	7	0.0	△0.1	1.4	0.1	△0.1	△1.1	△3.6	△0.2	0.0	0.0	△0.3	△0.1	△0.5
	8	0.5	0.7	2.4	△0.4	0.0	0.7	△2.9	0.0	0.0	0.0	0.6	△0.2	△0.2
	9	0.3	0.3	△1.1	0.0	0.0	0.1	8.3	0.4	△0.1	0.0	△1.3	0.1	0.7
10	0.0	0.0	△0.5	0.4	0.0	0.1	0.4	△0.4	0.1	0.0	0.6	△0.6	0.2	
11	△0.7	△0.9	△2.2	0.2	△0.8	0.0	0.3	0.0	△1.0	0.0	0.0	0.0	△0.1	
12	0.0	0.1	0.6	0.0	△0.2	△1.3	△0.9	0.0	0.1	0.0	0.1	△0.1	△0.1	
対 前 年 同 月 上 昇 率 (%)	平成5年1月	1.3	1.1	△0.8	5.1	0.8	0.2	2.9	1.2	0.1	3.4	2.7	2.0	2.0
	2	1.4	1.2	△0.2	4.9	0.8	0.5	1.7	2.2	0.2	3.4	2.2	1.9	1.8
	3	1.3	1.0	△0.8	4.7	0.9	0.3	1.8	2.9	0.3	3.4	2.1	1.7	1.9
	4	1.0	0.8	△1.3	4.2	0.3	0.7	3.2	0.5	0.6	3.8	1.7	1.1	1.7
	5	0.9	0.7	△1.3	3.6	0.3	0.3	3.1	0.3	0.6	4.1	1.2	0.6	1.5
	6	1.0	0.8	△1.5	3.4	0.3	0.3	3.6	0.4	0.6	4.1	2.2	0.8	1.6
	7	1.7	1.5	1.3	2.7	0.3	0.1	3.3	0.3	1.1	4.1	1.8	0.3	1.4
	8	2.0	1.9	2.6	2.5	0.2	0.8	3.4	0.3	0.9	4.1	1.3	0.2	1.3
	9	1.7	1.6	1.7	2.4	0.2	0.2	3.9	0.7	0.8	3.8	0.7	0.3	1.4
	10	1.3	1.2	1.0	2.3	0.2	0.1	2.0	0.2	0.9	3.8	1.0	△0.5	1.2
	11	0.9	0.8	0.5	2.4	△0.6	0.6	2.2	0.1	△0.8	3.8	0.9	△0.3	0.9
	12	1.0	0.9	1.4	2.4	△0.9	0.1	1.2	0.7	△0.8	3.8	0.6	△0.6	0.8

統計調査と負担軽減

統計調査を行えば、調査対象となった個人又は法人は、自計又は他計の形で調査に協力する。その協力を得なければ調査はできないわけで、調査客体に一定の負担をおかけして始めて統計ができる。近年、調査客体のうち、企業、事業所から類似したり、重複している統計調査についてその改善を求める声が強まっている。一体、企業、事業所にどの位の負担がかかっているのであろうか。昭和26年に統計委員会事務局が民間に委託して調査した結果では、京浜地区所在の66社における報告負担量は、平均1日1通で、そのうちの86%が用紙の調達までが報告者の負担となっていた。また、報告のための人件費は1企業平均年間300万円近いことが明らかとなった。(その後、こうした状況を受けて統計報告調整法が昭和27年に成立した。)

最近の調査では、昭和57年に行政管理庁が(財)全国統計協会連合会に委託して行ったアンケート調査(1部上場会社500社のうち、170社から回答を徴集)があるが、それによると、昭和57年8月の1か月間で1社平均13.9件(報告様式ベース)で、これを徴集者が民間の場合と行政機関の場合に区分すると前者が4.1件、後者が9.8件と行政機関からのものが倍以上となっている。また、行政機関からのものを統計報告(統計法又は統計報告調整法に基づく報告)と業務報告(許認可に基づいて徴集する報告)に区分してみると、前者が5.0件、後者が4.8件とやや統計報告が多くなっている。

また、更に統計報告(5.0件)を指定統計、承認統

計、届出統計別に区分すると、指定が2.4件、承認が1.9件、届出が0.7件となっている。8月1か月だけの調査であるので他の月ではどうか、年間を通じてはどうかという疑問が残るが、8月1か月としては上記のような傾向であった。大雑把に言って、統計報告：業務報告：民間徴集報告の割合は、やや統計報告が多いものの1：1：1となっているとみられる。民間企業が言っている報告類には、統計報告以外も含まれていること、しかも許認可権限に基づく業務報告や民間(多くは銀行及び経済関係の新聞・出版社)からの調査がそれぞれ同じ位あるということである。報告する企業にしてみれば、民間からの調査に対しては、対等の立場であり、応ずるか否かは自由である。許認可に係る報告については利害が直接絡むだけに中々ノーとは言えない。そこで目の敵となるのが統計報告になっているのではないかという気がしないでもない。

だからと言って、統計報告に係る負担軽減を怠るつもりは全くない。統計法は第1条で統計調査の重複を除くことを一つの目的としており、また、統計報告調整法はまさに統計報告の徴集について必要な調整を行い、もって統計作成に伴う負担軽減を図ることを目的としている法律である。したがって、我々の業務の中でも統計調査に伴う調査客体の負担軽減は最も重要な行政課題である。

アメリカでは、昭和17年に「連邦報告法」が制定され、10人以上を対象とする報告類をOMB(大統領府行政管理予算局)が管理するレポート・コン

総務庁統計局統計基準部

統計企画課長

加藤 雅夫

トロールの制度が運用されてきたが、昭和55年に新たにペーパーワーク削減法が制定され、連邦行政機関は、個人、企業、州その他の組織体からデータを収集しようとする時はOMBの承認を得ることが義務付けられている(勿論、統計報告のみならずあらゆるデータの収集が対象となっている)。承認に当たっては、①当該データの必要性②既存の収集データとの重複の有無③国民に不当に負担を課していないか等が承認の基準となっている。昭和58年末まで法律上25%のペーパーワークを削減することが目標とされていたが、これを上回る32%の削減を達成しており、昭和61年の法律改正後は年5%の負担を削減するという目標が設定されている。なお、このペーパーワークの削減はペーパーの“枚数”ではなく、報告者の報告書を受理してから内容を理解し、記入し、提出するまでの“時間の総量”が対象となっている。

我が国では、統計法、統計報告調整法に基づき審査業務を通じて重複排除や負担軽減に努めているところであるが、行政改革の観点からこれまで3度統計調査の簡素合理化等を進めてきた。最初が55年行革に基づくもので、昭和54年度及び55年度の2か年で63の統計調査について統廃合等を実施した。次に59行革大綱に基づき59年度から3か年間で約2割(115調査)について統廃合等を実施した。更に昭和63年12月の「規制緩和推進要綱」に基づき、平成元年12月に各省庁間で申し合わせを行い、各省庁が所管の統計調査について5年毎に見直しを行い国民負担の軽減を図ることとした。

この申し合わせでは、いつ、どのような見直しを行うかが明らかでなかったことから各省庁における見直しが必ずしも計画的に行われたとは言い難かった。こうした反省の上に立って、更に一層の負担軽減を図る観点から平成6年2月の行革大綱に基づき、各省庁間で新たな申し合わせを行い、各省庁が平成7年度からの5か年間に所管する統計調査に係る見直し計画を策定し、計画的に統計調査の見直しを行っていくこととした。この新たなシステムによって統計調査に係る負担軽減が一層促進され、国民の統計調査に対する協力が得られやすい環境作りの一助となることを期待している。と同時に、時代の変化に対応した新たな統計を整備していくためにも、既存の統計調査の見直しは必要である。

なお、各省庁間の調整が必要な統計調査については別途の調整が必要になるほか、都道府県において実施されている届出統計調査に係る負担軽減をどうするかという問題が残されている。これらについては、新「統計行政の中・長期構想」の検討の中で議論される必要があると考える。



主 要 経

茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金		手 形 交 換 高 (8手形交換所分)		百 貨 店 売 上 高 (主要4店)	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 季調済指数)
	世 帯	人 口	人 口 増 加 率	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	世 帯	人	%	億 円 (年月末)		千 枚	百万円	百万円	昭60年=100
平成2年	833 634	2 845 382	6.85	100 036	54 833	2 031	2 724 517	72 582	126.3
3	855 716	2 877 242	11.20	106 236	60 985	1 943	2 736 352	74 023	131.5
4	876 328	2 904 548	9.49	109 390	64 891	1 854	2 690 207	70 781	123.3
4.12	878 870	2 908 707	0.61	109 390	64 891	181	255 830	8 076	121.3
5.1	879 838	2 910 484	0.52	106 687	64 652	108	173 244	6 141	122.9
2	880 920	2 912 012	0.44	106 583	64 666	142	182 976	5 090	115.5
3	881 680	2 913 287	△1.65	109 190	65 507	175	241 846	4 951	122.6
4	880 103	2 908 485	2.45	106 808	64 519	146	244 150	6 173	118.7
5	887 808	2 915 617	0.86	107 574	64 419	143	203 010	5 005	114.7
6	889 794	2 918 121	0.66	109 698	64 350	145	222 142	5 695	119.0
7	891 127	2 920 054	0.67	109 642	65 331	139	177 547	6 291	122.8
8	892 250	2 921 999	1.11	109 113	65 147	158	227 149	4 709	121.0
9	893 641	2 925 239	0.52	110 642	66 223	141	189 553	4 570	126.0
10	894 495	2 926 752	0.83	108 863	66 038	122	176 243	5 555	113.3
11	896 121	2 929 188	0.61	109 091	65 942	155	204 559	5 134	r 118.1
12	897 374	2 930 980	...	112 278	67 164	147	207 294	7 540	p 117.0
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所			水戸財務事務所		

(注) 百貨店売上高は、平成元年6月から主要4店の合計である。

全 国

年 月	人 口		銀 行 券 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店 売 上 高	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 季調済指数)
	人 口	人 口 増 加 率		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	千人	%	億 円 (年月末)		千枚	億円	億円	平2年=100	
平成2年	123 611	3.30	397 978	4 090 101	4 411 685	382 745	47 972 906	93 303	100.0
3	124 043	3.50	398 828	4 101 681	4 604 718	367 124	40 374 647	97 131	101.7
4	124 452	3.29	390 263	4 024 639	4 718 206	350 245	35 634 974	95 196	95.5
4.11	124 446	0.64	338 529	3 993 535	4 647 493	29 608	2 663 118	7 769	92.5
12	124 525	△1.00	390 263	4 024 639	4 718 206	34 901	2 981 120	12 359	91.9
5.1	124 400	1.06	347 553	3 973 812	4 709 394	21 070	2 384 497	7 020	91.4
2	124 531	△0.36	353 245	3 979 128	4 705 565	25 620	2 723 356	6 063	92.8
3	124 486	0.38	347 966	4 096 533	4 726 330	32 601	3 363 634	7 725	95.1
4	124 533	△0.26	364 343	4 021 739	4 658 857	27 497	2 920 260	7 071	92.7
5	124 501	1.10	341 713	4 033 873	4 640 433	26 693	2 366 311	7 054	90.3
6	124 637	0.26	361 162	4 054 770	4 661 762	27 173	2 824 114	6 849	92.0
7	124 670	△0.87	354 400	4 062 606	4 697 183	28 353	2 570 708	9 449	91.8
8	124 561	r 0.93	345 183	4 027 891	4 670 899	29 459	2 776 965	5 908	90.7
9	r 124 677	0.70	341 807	4 075 822	4 716 241	26 725	2 796 877	6 152	92.7
10	r 124 764	p 0.15	348 712	4 008 125	4 683 269	23 634	2 505 338	7 406	87.6
11	p 124 780	...	349 011	4 023 209	4 686 099	29 183	2 560 100	7 186	89.5
資 料	総務庁統計局		日 本 銀 行 調 査 統 計 局				日本百貨店協会		通 産 省

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在、人口増加率は10月1日～翌年9月30日。
 全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。
 県及び全国の鉱工業生産指数は、年間補正後の指数である。
 全国銀行勘定は、第2地方銀行協会加盟行(相互銀行を含む)を含むベースで週及調整。

経済指標

茨城県

調査産業 平均賃金	賃金指数 (名目)	雇用指数	有効 求人倍率	消費者 物価指数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市) (勤労者)	産業用 電力消費量 (50kW以上)	建築着工		年月
							工事費 予定額	床面積	
円	平2年=100		倍	平2年=100	円	kWh	百万円	千㎡	
サービス業を含む									
355 816	100.0	100.0	1.90	100.0	348 255	※10 396 852	1 447 676	8 397	平成2年
378 522	106.0	101.2	1.86	103.1	346 967	※10 745 101	1 259 638	7 783	3
385 614	108.0	103.6	1.38	105.1	407 705	※10 949 561	1 138 399	7 235	4
861 696	241.1	103.6	1.18	105.3	693 164	928 264	84 213	521	4.12
302 824	85.1	103.5	1.13	105.5	357 123	837 340	68 383	440	5.1
292 422	82.2	103.6	1.12	105.4	322 635	904 908	81 289	541	2
321 180	90.2	102.9	1.05	105.6	469 396	936 340	69 164	462	3
302 704	85.0	105.4	0.91	106.3	379 165	918 753	61 242	409	4
294 652	82.8	104.9	0.83	106.7	337 007	925 384	72 549	491	5
665 320	186.9	105.2	0.80	106.2	415 915	991 847	112 702	744	6
438 902	123.3	105.0	0.80	106.2	404 174	949 051	95 426	658	7
304 734	85.6	104.9	0.77	106.6	359 687	872 904	94 542	595	8
291 488	81.9	104.5	0.78	106.7	365 091	929 836	94 632	612	9
293 630	82.5	104.4	0.74	107.1	321 239	916 883	82 285	516	10
298 192	83.8	104.3	0.72	106.1	...	923 236	69 703	451	11
862 068	242.2	103.8	0.70	106.2	...	912 519	74 864	481	12
県統計課			県職業安定課	総務庁統計局		東京電力 茨城支店	建設省建設経済局		資料

全国

調査産業 平均賃金	賃金指数 (名目)	雇用指数	有効 求人倍率	消費者 物価指数	家計消費 支出 (勤労者)	産業用大口 電力消費量	建築着工		年月
							工事費 予定額	床面積	
円	平2年=100		季調済	平2年=100	円	百万kWh	億円	千㎡	
サービス業を含む									
370 169	100.0	100.0	1.43	100.0	331 595	※243 543	492 914	283 421	平成2年
384 787	103.5	103.2	1.34	103.3	345 473	※252 278	471 796	252 260	3
392 608	105.3	105.5	1.00	105.0	352 820	※247 250	460 453	246 601	4
310 770	83.1	105.8	0.94	105.4	327 874	20 529	35 096	19 143	4.11
841 288	233.2	105.9	0.92	105.4	470 840	20 221	34 008	18 561	12
308 009	83.1	105.4	0.93	105.3	338 310	19 378	26 782	14 328	5.1
292 689	79.0	105.1	0.91	105.4	318 072	19 384	30 869	16 830	2
322 036	86.9	104.7	0.88	105.7	394 651	21 054	34 926	18 872	3
301 509	81.4	107.5	0.84	106.4	364 457	20 097	35 649	19 668	4
300 592	81.1	107.6	0.81	106.5	334 114	19 887	33 937	18 815	5
567 677	153.2	107.6	0.74	106.4	329 825	21 283	38 513	21 467	6
516 919	139.5	107.5	0.72	106.7	374 279	21 262	37 238	21 380	7
336 080	90.7	107.2	0.70	107.0	346 500	19 717	37 430	21 185	8
298 556	80.6	107.1	0.69	107.1	325 222	20 713	36 609	20 616	9
298 921	80.7	106.9	0.67	107.0	333 528	20 533	36 916	20 606	10
316 954	85.6	106.8	0.65	106.4	330 195	20 026	32 159	18 644	11
労働省			総務庁統計局		通産省	建設省		資料	

(注) 消費者物価指数は持家の帰属家賃を含む総合指数である。

1. 世帯，人口および人口移動

(単位：世帯，人)

年月日	世帯数	人 口			対前年(月) 増減数	人 口 移 動			
		総 数	男	女		自 然 動 態		社 会 動 態	
						出 生	死 亡	転 入	転 出
2.10.1	833 634	2 845 382	1 419 117	1 426 265
3.10.1	855 716	2 877 242	1 436 424	1 440 818	31 860	28 999	19 057	144 609	122 691
4.10.1	876 328	2 904 548	1 450 839	1 453 709	27 306	29 379	19 651	147 644	130 066
5.1.1	879 838	2 910 484	1 453 863	1 456 621	1 777	2 313	1 739	8 910	7 707
2.1	880 920	2 912 012	1 454 706	1 457 306	1 528	2 420	2 156	8 671	7 407
3.1	881 680	2 913 287	1 455 343	1 457 944	1 275	2 142	1 855	8 841	7 853
4.1	880 103	2 908 485	1 452 545	1 455 940	△4 802	2 462	2 015	25 434	30 683
5.1	887 808	2 915 617	1 457 086	1 458 531	7 132	2 316	1 706	24 317	17 795
6.1	889 794	2 918 121	1 458 564	1 459 557	2 504	2 431	1 593	9 612	7 946
7.1	891 127	2 920 054	1 459 493	1 460 561	1 933	2 449	1 494	9 844	8 866
8.1	892 250	2 921 999	1 460 521	1 461 478	1 945	2 507	1 512	10 206	9 256
9.1	893 641	2 925 239	1 462 258	1 462 981	3 240	2 536	1 558	10 851	8 589
10.1	894 495	2 926 752	1 463 104	1 463 648	1 513	2 374	1 532	9 035	8 364
11.1	896 121	2 929 188	1 464 387	1 464 801	2 436	2 320	1 510	10 036	8 410
12.1	897 374	2 930 980	1 465 225	1 465 755	1 792	2 390	1 706	9 741	8 633
6.1.1	898 115	2 932 403	1 465 818	1 466 585	1 423	2 227	1 759	9 329	8 374

(注) 人口移動のうち，年別人口移動については各年の年間数値を，月別人口移動については前月の月間数値を示す。
人口移動については各市町村から住民基本台帳などにに基づき報告されたものである。

資料：県統計課

2. 市町村別人口と世帯

(単位：人，世帯)

市町村	平成2年 10月1日 人口総数	平成6年1月1日			市町村	平成2年 10月1日 人口総数	平成6年1月1日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
総 数	2 845 382	2 932 403	1 423	898 115	下 妻 市	33 731	35 559	57	10 293
市 部	1 552 160	1 603 723	750	525 599	水 海 道 市	42 340	43 057	31	11 879
郡 部	1 293 222	1 328 680	673	372 516	常 陸 太 田 市	37 624	39 323	4	11 560
水 戸 市	234 968	247 054	△ 23	90 118	勝 田 市	109 825	113 769	6	38 328
日 立 市	202 141	201 666	△106	71 155	高 萩 市	35 320	35 398	△ 10	11 204
土 浦 市	127 471	131 097	△ 33	44 621	北 茨 城 市	51 093	51 798	12	15 679
古 河 市	58 231	59 020	26	18 765	笠 間 市	30 811	30 425	△ 21	8 776
石 岡 市	50 618	52 378	△ 17	16 317	取 手 市	81 665	84 779	106	27 725
下 館 市	66 028	66 698	13	20 052	岩 井 市	43 102	44 104	23	11 695
結 城 市	53 288	53 912	55	14 993	牛 久 市	60 693	64 730	269	19 840
龍 ヶ 崎 市	57 238	64 076	187	20 019	つ く ば 市	143 396	152 649	205	52 975
那 珂 湊 市	32 577	32 231	△ 34	9 605					

市町村	平成2年 10月1日 人口総数	平成6年1月1日			市町村	平成2年 10月1日 人口総数	平成6年1月1日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
東茨城郡	145 093	137 526	84	38 129	稲敷郡	138 137	148 085	110	42 030
茨城町	35 651	35 942	14	9 486	江戸崎町	14 638	18 645	84	5 528
小川町	18 483	19 364	51	5 101	美浦村	14 348	16 598	75	5 099
美野里町	21 751	22 943	△ 15	6 456	阿見町	42 192	43 916	△ 16	13 777
内原町	14 931	14 928	△ 11	3 876	碓崎町	25 070	25 955	△ 23	7 387
常北町	11 322	12 127	25	3 466	新利根村	9 177	10 112	4	2 584
桂村	6 688	6 811	28	1 925	河内村	11 201	11 571	3	2 869
御前山村	4 965	4 863	△ 3	1 368	桜川村	8 060	7 877	△ 5	1 810
大洗町	20 745	20 548	△ 5	6 451	東村	13 451	13 411	△ 12	2 976
西茨城郡	72 891	75 672	39	20 975	新治郡	89 978	93 462	73	25 015
友部町	30 965	33 217	36	9 770	出島村	18 674	19 055	26	4 790
岩間町	16 006	16 494	9	4 593	玉里村	7 966	8 481	20	2 333
七会村	2 711	2 672	3	659	八郷町	29 417	30 444	14	7 163
岩瀬町	23 209	23 289	△ 9	5 953	千代田町	24 339	25 809	14	8 234
那珂郡	127 340	130 513	106	39 468	新治村	9 582	9 673	△ 1	2 495
東海村	31 557	32 223	35	10 489	筑波郡	38 537	39 971	14	10 774
那珂町	42 561	44 189	74	12 993	伊奈町	26 604	26 643	0	7 351
瓜連町	8 517	9 249	2	2 488	谷和原村	11 933	13 328	14	3 423
大宮町	25 537	26 252	6	8 081	真壁郡	80 448	80 728	△ 17	20 444
山方町	8 780	8 621	△ 13	2 620	関城町	16 377	16 413	7	4 091
美和村	5 283	5 033	△ 3	1 372	明野町	18 183	18 222	△ 8	4 823
緒川村	5 105	4 946	5	1 425	真壁町	20 833	20 828	△ 11	5 286
久慈郡	49 201	47 856	△ 43	13 757	大和村	7 838	7 817	△ 5	1 872
金砂郷町	10 424	10 508	6	2 919	協和町	17 217	17 448	0	4 372
水府村	7 031	6 769	△ 19	1 971	結城郡	55 328	57 233	△ 1	14 420
里美村	4 679	4 599	△ 2	1 292	八千代町	24 351	24 902	△ 8	5 791
大子町	27 067	25 980	△ 28	7 575	千代川村	8 973	9 310	△ 1	2 337
多賀郡	12 928	13 157	△ 19	3 862	石下町	22 004	23 021	8	6 292
十王町	12 928	13 157	△ 19	3 862	猿島郡	132 995	139 006	46	37 768
鹿島郡	186 811	192 870	78	57 878	総和町	44 844	46 489	26	13 698
旭村	11 270	11 393	△ 9	2 621	五霞村	9 468	10 253	△ 17	2 694
鉾田町	28 370	28 480	△ 1	7 315	三和町	36 164	39 197	51	10 559
大洋村	10 483	10 919	8	2 900	猿島町	15 597	15 432	△ 18	3 400
大野村	13 865	14 656	62	4 077	境町	26 922	27 635	4	7 417
鹿島町	45 227	45 874	△ 45	15 183	北相馬郡	89 682	97 937	190	28 279
神栖町	40 351	43 242	△ 9	14 469	守谷町	36 427	43 588	186	13 085
波崎町	37 245	38 306	72	11 313	藤代町	32 744	33 730	△ 15	9 666
行方郡	73 853	74 664	13	19 717	利根町	20 511	20 619	19	5 528
麻生町	17 774	17 349	7	4 133					
牛堀町	6 418	6 323	△ 10	1 628					
潮来町	24 445	25 731	46	7 750					
北浦村	11 107	10 945	△ 2	2 535					
玉造町	14 109	14 316	△ 28	3 671					

(注) 世帯数、人口、人口移動とも外国人を含む。

資料：県統計課

3. 産業別賃金指数（現金給与総額）

（平成2年=100）

年 月	調査産業計		建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・ 通信業	卸売・ 小売業・ 飲食店	金融・ 保険業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
平成2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	106.0	106.1	113.3	108.2	101.4	100.4	101.1	99.1	105.5
4	108.0	107.2	113.7	109.1	106.6	104.3	102.1	99.6	109.1
4.12	241.1	231.2	252.7	236.0	130.6	235.9	204.6	237.0	266.6
5.1	85.1	83.0	85.3	84.6	79.5	87.9	76.6	69.7	89.3
2	82.2	81.2	89.6	82.9	78.1	84.3	72.3	69.4	83.6
3	90.2	85.1	95.9	85.2	78.6	92.0	73.8	85.0	102.3
4	85.0	85.3	91.2	85.6	77.1	95.4	78.2	75.1	83.4
5	82.8	83.3	83.4	85.4	78.3	82.6	77.1	74.9	80.6
6	186.9	182.0	171.8	185.9	219.2	159.8	139.0	248.7	197.2
7	123.3	132.8	118.6	137.1	102.1	150.2	134.1	78.2	97.7
8	85.6	85.3	106.2	86.3	78.8	81.5	81.3	76.4	85.4
9	81.9	81.9	88.2	82.9	77.7	85.0	76.2	74.0	80.8
10	82.5	82.6	94.3	83.1	76.8	85.8	77.8	74.5	81.1
11	83.8	83.0	104.6	83.4	78.4	83.4	76.8	74.8	84.7
12	242.2	238.9	209.5	244.8	252.4	233.8	219.1	238.5	247.4

（注）（1）規模30人以上の事業所。（2）名目賃金指数。

資料：県統計課

4. 産業別雇用指数

（平成2年=100）

年 月	調査産業計		建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・ 通信業	卸売・ 小売業・ 飲食店	金融・ 保険業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
平成2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	101.2	102.3	99.5	102.0	101.6	98.6	106.7	104.1	97.7
4	103.6	103.0	103.2	102.0	99.8	98.9	112.1	106.4	105.0
4.12	103.6	102.1	104.3	101.1	99.0	96.9	109.8	106.4	107.8
5.1	103.5	102.1	104.6	100.6	98.9	97.3	113.0	105.2	107.7
2	103.6	102.3	109.8	100.5	99.0	97.1	112.9	105.9	107.5
3	102.9	101.6	111.7	100.0	99.0	97.8	109.2	104.7	106.8
4	105.4	104.1	114.5	102.5	103.0	98.6	113.3	106.3	109.3
5	104.9	103.4	111.1	102.0	104.3	98.4	111.6	106.5	109.2
6	105.2	103.9	109.9	102.3	104.0	100.1	112.5	106.7	109.2
7	105.0	103.5	110.1	102.2	103.4	99.2	110.3	106.7	109.4
8	104.9	103.3	109.8	101.8	103.4	98.7	112.0	106.6	109.5
9	104.5	102.9	109.9	101.7	103.2	96.9	110.9	106.0	109.3
10	104.4	102.7	112.2	101.6	103.5	97.2	109.0	106.0	109.2
11	104.3	102.7	114.1	101.3	103.1	97.2	109.8	106.2	109.1
12	103.8	102.0	114.9	100.6	102.9	95.4	109.4	106.2	108.9

（注） 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

5. 産業別労働時間（総実労働時間）

（単位：1人1ヵ月当たり，時間）

年 月	調査産業計		建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・ 通信業	卸売・ 小売業・ 飲食店	金融・ 保険業	サービス業	所定内 労働時間 調査産業計 〔サービス 業を含む〕
	サービス 業を含む	サービス 業を除く								
平成2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	98.3	98.0	101.8	98.0	101.2	98.7	96.3	95.6	99.2	98.9
4	95.2	94.8	97.7	94.5	103.0	97.8	92.4	96.4	96.4	97.5
4.12	94.6	95.2	96.0	94.9	98.6	100.6	91.6	99.4	92.3	96.8
5.1	84.3	83.7	84.7	81.6	97.2	91.5	86.0	92.5	86.4	86.6
2	93.0	93.0	99.9	94.6	97.3	93.4	85.1	87.1	93.1	95.5
3	94.1	93.1	99.9	93.2	100.9	96.5	86.4	97.8	97.5	96.9
4	98.7	98.5	100.9	99.4	106.5	98.5	92.4	101.7	99.6	101.9
5	86.9	86.8	85.0	85.8	97.4	93.0	86.8	92.3	87.6	89.4
6	95.4	94.9	100.2	94.9	99.4	97.7	91.9	94.4	97.4	98.5
7	97.3	97.8	100.0	98.0	100.7	101.0	94.2	100.1	96.5	100.8
8	85.1	86.5	91.2	83.5	100.9	94.2	91.4	96.3	81.6	87.7
9	93.4	93.7	95.2	94.1	96.4	97.6	89.7	92.5	92.7	96.4
10	92.9	93.5	94.6	93.3	96.6	100.5	90.0	92.3	91.8	95.9
11	95.2	96.0	98.4	96.5	99.7	100.2	91.6	93.3	93.1	98.6
12	91.6	93.0	96.0	92.2	97.3	99.3	90.9	95.6	88.4	94.6

（注） 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

6. 職業紹介状況

（単位：件）

年 月	一 般 職 業 紹 介（パートタイムを含まない）						
	新規求人数 (A)	新規求職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就 職 件 数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
平成2年	139 658	51 482	33 065	17 379	18 669	2.71	1.90
3	135 501	51 555	32 597	17 521	17 601	2.63	1.86
4	116 518	59 897	27 744	20 107	18 109	1.95	1.38
5.1	9 795	5 759	23 226	20 566	1 247	1.70	1.13
2	8 770	5 571	24 380	21 709	1 501	1.57	1.12
3	8 691	6 682	25 090	23 850	1 907	1.30	1.05
4	8 153	7 708	23 271	25 713	1 721	1.06	0.91
5	6 803	5 687	20 995	25 419	1 535	1.20	0.83
6	7 188	5 710	20 125	25 251	1 647	1.26	0.80
7	8 022	5 952	20 360	25 472	1 567	1.35	0.80
8	6 888	5 764	19 912	25 791	1 580	1.20	0.77
9	7 707	6 418	20 429	26 265	1 783	1.20	0.78
10	7 146	6 103	19 398	26 233	1 687	1.17	0.74
11	6 312	5 525	18 691	25 872	1 594	1.14	0.72
12	5 523	4 444	16 828	24 132	1 260	1.24	0.70
6.1	7 563	7 256	17 750	25 812	1 370	1.04	0.69

（注） 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課

7. 農産物の平均販売価格

(単位：円)

年度・月	うるち米 (自由売 (玄米60kg))	生乳 (飲用10kg)	鶏卵 (10kg)	豚肉 (生体10kg)	肉用牛 (去勢肥育 和牛・若齢 生体10kg)	乳子牛 (めす、生後 6ヵ月 ホルスタイン 純種)	ブロイラー (生体10kg)
平成2年度	20 304	945	2 187	3 220	14 072	99 899	2 260
3	20 186	955	2 062	3 376	13 331	91 888	2 422
4	21 266	952	1 554	3 325	12 466	79 997	2 386
5. 1	…	943	1 480	2 979	11 971	79 000	2 383
2	…	946	1 835	2 985	12 713	79 000	2 300
3	…	917	1 490	3 206	12 332	77 000	2 317
4	…	910	1 620	3 430	12 764	73 000	2 150
5	…	910	1 710	3 258	12 860	71 600	2 133
6	…	907	1 545	3 314	12 100	71 600	2 133
7	21 000	903	1 315	3 496	12 100	65 564	2 117
8	21 000	897	1 375	3 244	12 100	65 564	2 083
9	24 000	893	1 400	3 235	11 900	63 897	2 083
10	28 000	890	1 660	2 800	11 185	63 897	2 083
11	29 000	883	1 600	2 694	11 135	57 231	2 083
12	29 667	870	1 710	2 733	11 800	57 231	2 083
6. 1	…	870	1 330	2 571	11 252	57 231	2 083

年 月	だいこん (1kg)	にんじん (1kg)	はくさい (1kg)	キャベツ (1kg)	ねぎ (1kg)	とまと (1kg)	きゅうり (1kg)	ピーマン (1kg)	レタス (1kg)
平成2年	89	135	56	83	187	302	273	359	220
3	106	136	90	112	247	312	283	526	232
4	72	111	40	60	250	288	247	361	138
5. 1	75	71	48	70	111	343	617	492	315
2	102	60	73	90	93	312	357	612	422
3	104	75	134	121	114	477	285	372	314
4	127	102	116	115	129	359	205	290	254
5	76	127	41	118	212	262	202	234	171
6	77	127	77	99	341	219	188	276	148
7	139	259	123	187	418	283	263	458	186
8	143	215	151	238	298	354	348	681	273
9	128	98	128	169	246	267	375	488	286
10	50	95	39	72	238	279	235	573	161
11	28	66	19	30	277	274	224	512	78
12	45	59	19	57	316	582	574	676	330
6. 1	79	67	31	112	523	404	435	669	381

(注) (1) 価格は、それぞれの主産地における生産者販売価格である。
(2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。
(3) 年(度)価格は、年(度)の加重平均値である。

資料：農林水産省茨城統計情報事務所(T E L0292-31-2266)
水戸市公設地方卸売市場(T E L0292-26-2331)

8. 鉱工業指数 (季節調整済指数)

1. 生産指数

(昭和60年=100)

年 月	鉱工業												窯業・ 土石製品 工業	化学 工業	石油・ 石炭製品 工業		
	製造 工業	製造 工業					機 械 工 業				一般 機 械	電 気 機 械				輸 送 機 械	精 密 機 械
		鉄鋼業	非 鉄 金 属 工 業	金 属 製 品 工 業	機 械 工 業	機 械 工 業	一 般 機 械	電 気 機 械	輸 送 機 械	精 密 機 械							
ウエイト	10 000.0	9 993.5	861.2	455.0	484.8	4 449.1	1 898.8	2 116.1	236.0	198.2	692.8	794.0	126.8				
平成2年	126.3	126.3	118.9	139.5	152.7	123.2	120.8	128.9	92.7	121.0	122.3	169.1	123.3				
3	131.5	131.5	114.6	155.6	158.2	128.0	129.3	134.2	65.1	123.6	110.7	188.8	130.7				
4	123.3	123.3	105.6	151.4	144.6	111.0	109.8	118.8	51.0	111.2	109.8	196.0	133.1				
4.12	121.3	121.4	107.6	144.1	129.7	106.2	107.9	110.9	51.8	99.5	109.3	203.1	138.2				
5.1	122.9	122.9	106.1	137.7	137.8	110.6	111.4	120.1	48.2	101.4	108.9	217.1	132.5				
2	115.5	115.5	108.0	148.5	124.9	97.0	96.7	102.9	49.3	82.1	108.3	223.7	134.6				
3	122.6	122.6	103.1	155.9	134.8	107.5	97.6	123.6	51.3	92.9	110.3	187.5	137.7				
4	118.7	118.7	105.1	142.8	137.3	100.9	96.1	111.3	43.5	94.2	106.4	200.5	151.6				
5	114.7	114.8	106.6	148.3	149.3	97.7	91.0	111.4	46.3	86.1	100.2	184.9	138.2				
6	119.0	119.0	117.9	156.6	153.7	97.7	93.4	107.4	48.4	89.1	108.2	173.0	241.5				
7	122.8	122.9	119.5	151.1	167.2	105.5	100.0	119.2	46.7	93.5	106.7	191.6	152.3				
8	121.0	121.1	107.8	146.4	154.1	102.1	103.9	109.0	46.0	91.5	114.5	187.2	125.5				
9	126.0	126.0	114.7	171.0	147.6	114.0	103.6	129.3	48.4	100.1	110.1	187.1	134.7				
10	113.3	113.4	98.3	143.9	142.5	92.9	91.2	101.8	47.9	69.9	111.4	181.6	143.0				
11	r 118.1	r 118.1	97.5	144.9	r 169.2	r 98.9	r 100.5	r 106.2	r 42.3	71.2	r 107.4	199.7	130.6				
12P	117.0	117.0	105.9	149.1	167.3	93.7	93.2	100.4	43.3	79.4	107.8	200.2	135.1				
対前月増減率 (%)	△0.9	△0.9	8.6	2.9	△1.1	△5.3	△7.2	△5.4	2.5	11.5	0.4	0.3	3.4				
対前年同月増減率	△3.6	△3.6	△1.6	3.4	28.9	△11.8	△13.6	△9.4	△16.3	△20.2	△1.4	△1.4	△2.2				

年 月	鉱工業										公 益 事 業	産 業 総 合	
	製 造 工 業					機 械 工 業							鉱 業
	プラスチック 製品工業	パルプ・紙・ 紙加工工業	織 維 工 業	食料品・ たばこ 工 業	その他 工 業	ゴム製品 工 業	皮革製品 工 業	家 具 工 業	木材・木製品 工 業	その他製品 工 業			
ウエイト	451.7	181.3	192.5	955.8	348.5	107.6	26.0	52.5	109.5	52.9	6.5	1 082.6	11 082.6
平成2年	127.2	134.4	91.0	106.2	111.8	132.5	107.1	99.0	101.4	106.1	89.6	121.7	125.8
3	126.2	135.3	85.2	124.9	110.3	150.9	103.4	83.9	95.6	87.3	89.7	112.2	129.6
4	120.7	138.8	81.4	134.8	102.4	132.1	103.8	75.3	87.3	99.6	87.3	112.3	122.2
4.12	119.2	136.6	82.3	137.8	100.4	123.2	107.7	73.4	88.6	101.4	89.4	102.4	119.8
5.1	116.5	139.9	79.2	128.3	98.2	114.4	99.6	72.9	88.8	103.7	84.4	119.4	123.3
2	114.9	145.9	79.0	112.1	98.3	117.5	92.0	69.6	93.7	100.8	79.8	113.7	115.6
3	120.4	140.6	76.2	162.1	101.3	116.6	101.2	85.2	95.0	105.6	73.0	132.1	123.7
4	119.0	139.1	75.9	143.7	102.4	122.9	99.6	80.6	87.2	115.5	76.6	115.0	118.2
5	121.2	136.9	76.3	126.4	97.1	117.7	90.1	71.2	84.6	108.2	86.4	116.9	115.4
6	123.3	136.8	77.6	148.7	101.5	122.3	98.4	75.8	91.5	104.8	83.1	104.3	117.4
7	126.9	141.1	77.3	132.9	93.7	112.2	101.6	69.7	84.7	95.7	83.3	74.7	117.5
8	122.2	136.4	83.4	148.1	96.2	109.0	107.4	76.2	88.7	103.4	64.8	71.8	115.1
9	121.1	142.0	79.6	136.2	94.0	107.0	92.7	71.1	87.3	98.9	76.3	82.1	121.6
10	124.9	144.4	78.6	132.9	98.1	119.1	101.4	61.0	89.2	107.7	80.1	91.1	111.3
11	r 113.0	145.5	r 82.0	138.3	95.8	112.0	104.9	64.9	88.4	108.7	72.0	89.8	r 114.9
12P	115.5	137.2	75.4	140.4	97.3	111.1	109.7	67.5	90.6	106.4	77.2	99.2	115.6
対前月増減率 (%)	2.1	△5.7	△8.0	1.6	1.6	△0.8	4.6	4.1	2.5	△2.1	7.2	10.4	0.6
対前年同月増減率	△3.1	0.4	△8.3	1.9	△3.1	△9.8	1.9	△8.0	2.2	4.9	△13.7	△3.1	△3.6

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。
昭和60年基準改定後の指数である。

資料：県統計課

8. 鋳工業指数 (季節調整済指数)

2. 出荷指数

(昭和60年=100)

年 月	鋳工業													
	製造工業	製造工業					機械工業				窯業・土石製品工業	化学工業	石油・石炭製品工業	
鉄鋼業		非鉄金属工業	金属工業	金製品工業	機械工業	一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械					
	ウェイト	10 000.0	9 996.2	875.9	539.8	365.6	3 933.8	1 498.6	2 026.6	244.7	163.9	441.1	872.9	589.7
平成2年		128.1	128.2	122.2	135.8	162.6	126.8	125.8	133.7	82.4	116.2	126.7	152.8	135.7
3		131.8	131.8	120.4	144.5	167.3	130.5	127.6	142.9	54.7	117.8	116.6	162.0	136.7
4		124.6	124.6	107.9	140.3	161.7	112.6	113.9	120.8	42.4	104.7	113.5	169.1	151.8
4.12		123.2	123.2	107.9	138.4	154.3	110.0	112.8	117.9	42.7	92.6	109.9	177.4	151.5
5.1		121.8	121.8	107.3	126.3	149.8	113.5	113.8	123.4	40.5	95.6	105.2	177.6	148.6
2		118.4	118.4	122.6	138.9	136.8	101.4	106.6	106.6	40.4	78.4	111.1	172.8	162.5
3		123.6	123.6	113.5	139.9	149.8	114.4	109.5	131.7	42.4	85.8	113.7	157.6	154.2
4		126.8	126.8	111.7	126.6	163.0	111.8	122.3	116.6	36.3	87.7	107.1	179.9	183.6
5		120.2	120.3	110.7	137.6	158.6	104.7	100.3	114.1	38.5	79.9	104.7	154.1	152.5
6		123.1	123.1	109.3	139.2	174.9	102.4	102.8	112.4	39.7	80.6	106.4	152.9	196.7
7		123.2	123.2	114.0	150.8	172.2	106.9	96.8	125.9	38.3	84.3	104.9	171.1	148.2
8		121.9	121.9	111.1	127.2	169.6	102.1	95.0	116.8	37.5	87.8	107.0	165.7	141.9
9		124.1	124.1	120.3	149.8	183.8	109.5	95.2	128.6	39.4	96.2	112.1	165.3	142.5
10		117.3	117.3	105.0	130.4	162.1	97.7	94.3	109.9	40.2	66.5	109.9	158.5	167.0
11	r	119.2	119.2	96.8	127.6	188.3	102.1	100.0	113.9	35.8	68.0	111.5	170.0	161.3
12p		120.4	120.4	116.5	129.2	174.9	100.8	108.0	106.3	35.8	71.1	110.3	169.6	154.2
(%)	対前月増減率	1.0	1.0	20.4	1.2	△7.1	△1.2	8.0	△6.7	0.1	4.5	△1.1	△0.2	△4.4
	対前年同月増減率	△2.2	△2.2	8.0	△6.7	13.4	△8.4	△4.2	△9.9	△16.2	△23.3	0.4	△4.4	1.7

年 月	鋳工業										鋳業	公益事業	産業総合	
	製造工業					工業								
	プラスチック製品工業	パルプ・紙・紙加工工業	繊維工業	食品・たばこ工業	その他工業	ゴム製品工業	皮革製品工業	家具工業	木材・木製品工業	その他製品工業				
	ウェイト	511.6	246.2	77.1	1 282.4	260.1	79.0	20.2	45.6	87.3	28.0	3.8	899.6	10 899.6
平成2年		131.2	138.0	88.1	105.2	117.1	142.9	109.6	108.7	104.1	104.0	125.2	121.7	127.6
3		130.7	138.5	81.8	115.9	117.3	163.6	105.1	95.9	97.1	93.0	128.6	112.2	130.2
4		124.9	139.8	79.3	119.4	108.0	143.3	106.5	85.5	89.6	103.3	124.4	112.3	123.6
4.12		121.3	141.0	79.0	116.3	104.6	131.3	108.2	85.1	89.7	105.6	127.7	102.6	121.6
5.1		120.9	140.0	75.3	108.1	100.6	118.7	116.1	82.2	88.2	106.4	115.0	119.4	121.8
2		119.1	147.8	76.1	101.6	103.0	126.6	96.7	78.0	94.7	112.8	103.4	113.7	118.5
3		124.1	143.9	73.9	118.4	104.2	124.7	105.8	88.1	95.4	101.6	121.8	132.0	124.1
4		126.3	140.2	70.5	122.7	102.7	126.5	103.1	92.2	90.0	97.0	116.1	115.1	126.0
5		125.7	133.8	76.4	114.1	98.6	124.0	100.3	72.2	85.6	109.3	104.0	117.0	119.7
6		121.5	142.9	139.7	128.1	107.1	136.5	109.3	81.5	93.8	107.0	121.8	104.4	121.8
7		132.8	141.3	69.6	116.9	99.0	119.6	100.8	80.9	85.3	110.0	103.3	74.9	119.1
8		131.1	135.7	75.9	131.9	97.6	114.4	120.2	70.3	87.7	104.2	85.1	72.0	117.3
9		130.1	142.7	74.5	116.7	97.8	113.7	94.8	77.6	89.7	104.0	105.7	82.3	120.2
10		123.9	140.0	76.1	121.3	99.3	120.2	111.2	77.0	86.8	107.8	126.9	91.3	115.4
11	r	114.9	143.6	80.1	115.8	99.0	113.9	113.8	82.6	88.6	107.4	103.1	90.0	116.4
12p		118.8	138.9	73.6	120.6	100.2	112.6	114.1	85.8	92.3	104.1	111.9	99.4	118.9
(%)	対前月増減率	3.4	△3.3	△8.2	4.2	1.2	△1.1	0.3	3.9	4.3	△3.0	8.5	10.4	2.1
	対前年同月増減率	△2.0	△1.5	△6.9	3.7	△4.2	△14.2	5.5	0.8	3.0	△1.4	△12.4	△3.1	△2.3

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。
昭和60年基準改定後の指数である。

資料：県統計課

8. 鉱工業指数 (季節調整済指数)

3. 在庫指数

(昭和60年=100)

年 月	鉱工業	製 造 工 業											窯業・ 土石製品 工業	化 学 工 業	石油・ 石炭製品 工業
		鉄鋼業	非 鉄 金 工 業	鉄 属 金 工 業	金 属 製 品 工 業	機 械 工 業	機 械 工 業								
							一 般 機 械	電 気 機 械	輸 送 機 械	精 密 機 械	ウエイト				
	10 000.0	9 998.5	1 293.5	667.2	405.2	3 220.2	2 022.0	1 065.3	6.5	126.4	981.2	985.6	415.9		
平成2年	107.5	107.4	138.2	115.7	149.7	95.3	93.4	100.3	61.8	83.9	108.6	88.9	156.6		
3	130.0	129.9	121.1	149.6	151.8	159.6	187.0	117.6	74.1	80.7	124.6	87.9	133.7		
4	124.3	124.3	115.2	120.9	161.2	148.3	192.0	77.2	62.4	52.7	117.5	88.0	157.5		
4.12	129.6	129.6	126.3	112.8	169.3	149.8	192.8	80.7	62.4	59.2	120.8	95.7	146.8		
5.1	131.2	131.2	131.4	118.5	171.9	154.2	191.8	83.3	46.4	47.1	124.6	94.9	155.5		
2	129.4	129.4	126.6	111.2	179.1	149.2	192.1	80.1	54.2	45.0	122.5	103.3	167.3		
3	131.0	131.0	127.5	110.4	173.5	141.5	184.0	77.3	62.8	40.8	120.9	94.6	140.1		
4	119.3	119.3	118.0	115.4	163.3	125.7	161.4	69.8	69.6	35.5	121.4	92.1	119.8		
5	116.1	116.1	118.6	116.7	166.4	117.3	148.2	66.4	80.6	39.2	108.4	97.1	115.9		
6	118.0	117.9	138.5	121.5	155.4	109.6	133.7	66.6	89.8	45.1	123.1	92.7	154.4		
7	120.4	120.4	144.6	125.6	164.4	115.9	145.8	68.5	99.7	56.1	127.8	90.0	141.0		
8	125.2	125.2	140.5	137.0	172.6	119.7	156.3	61.5	115.0	49.3	132.4	101.0	143.2		
9	128.4	128.4	142.6	147.9	160.8	129.3	172.5	60.3	121.7	41.3	131.6	98.9	160.0		
10	128.4	128.4	139.7	152.6	165.4	129.6	173.9	60.8	121.5	44.8	133.2	102.0	155.2		
11	r 129.7	r 129.7	148.9	147.5	r 178.7	r 128.3	173.4	r 58.9	r 92.8	44.4	r 131.0	107.2	133.8		
12P	128.8	128.8	149.5	145.8	187.7	124.2	165.6	54.2	84.3	60.1	132.1	110.0	125.2		
(%) 対前月増減率	△0.7	△0.7	0.4	△1.1	5.0	△3.2	△4.5	△7.9	△9.2	35.3	0.9	2.6	△6.4		
(%) 対前年同月増減率	△0.6	△0.6	18.3	29.2	10.8	△17.1	△14.1	△32.8	35.1	1.5	9.4	14.9	△14.7		

年 月	鉱 工 業											鉱 業	公 益 事 業	産 業 総 合
	製 造 工 業													
	プラスチック 製品工業	パルプ・紙・ 紙加工工業	織 維 工 業	食料品・ たばこ 工 業	その他 工 業	ゴム製品 工 業	皮革製品 工 業	家 具 工 業	木材・木製品 工 業	その他製品 工 業	ウエイト			
	536.8	218.6	124.6	901.4	248.3	44.4	6.5	75.6	55.3	66.5	1.5	—	10 000.0	
平成2年	112.7	119.7	92.2	65.6	137.2	121.7	205.5	166.4	97.6	140.8	267.8	—	107.5	
3	128.3	121.6	104.6	71.5	119.4	103.6	194.7	128.0	117.4	114.5	273.9	—	130.0	
4	138.5	132.5	91.0	69.5	103.3	89.6	256.1	104.4	101.0	98.3	200.0	—	124.3	
4.12	143.1	143.2	91.5	92.3	102.5	94.6	186.3	104.0	104.7	96.0	190.7	—	129.6	
5.1	138.4	143.2	93.5	95.0	103.8	105.7	159.0	104.8	109.0	94.8	211.4	—	131.2	
2	137.1	144.8	94.2	80.6	101.5	96.8	154.4	105.4	111.1	92.5	258.0	—	129.4	
3	138.1	140.7	210.5	131.6	103.2	95.0	133.1	106.1	114.7	94.3	226.9	—	131.0	
4	134.4	138.0	219.1	85.4	108.1	106.3	146.5	104.7	113.7	106.3	196.6	—	119.3	
5	138.0	137.4	204.1	82.7	109.8	101.9	121.4	109.3	116.2	108.3	206.6	—	116.1	
6	145.2	131.4	93.8	91.0	109.2	89.4	107.6	116.1	115.8	108.9	199.8	—	118.0	
7	143.1	130.9	101.8	92.5	105.6	88.4	124.4	112.1	117.0	100.9	242.7	—	120.4	
8	140.1	130.9	109.0	94.2	110.4	95.5	96.8	118.9	121.6	100.2	275.4	—	125.2	
9	137.3	131.9	110.8	89.8	105.4	81.1	23.5	118.9	119.6	93.9	281.5	—	128.4	
10	144.0	139.4	108.9	81.0	108.0	92.7	22.0	113.2	130.5	95.1	220.3	—	128.4	
11	r 147.3	140.8	r 108.1	88.5	107.6	102.6	35.0	106.5	135.2	99.7	217.1	—	r 129.7	
12P	147.3	139.6	104.7	88.4	107.4	104.4	70.0	99.9	137.1	102.3	219.0	—	128.8	
(%) 対前月増減率	△0.0	△0.8	△3.2	△0.2	△0.2	1.8	100.1	△6.2	1.4	2.7	0.9	—	△0.7	
(%) 対前年同月増減率	2.9	△2.5	14.4	△4.3	4.8	10.3	△62.4	△3.9	30.9	6.6	14.9	—	△0.6	

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。
昭和60年基準改定後の指数である。
在庫の年指数については年末の指数である。

資料：県統計課

9. 産業別電力消費量

(単位：千kWh)

年度・月	総数	農林・水産 養殖業	鉱業	建設業	製造業	運輸 通信業	電気・ガス 水道業	その他 の産業
平成2年度	10 396 852	23 922	14 206	36 249	8 910 078	223 808	244 501	944 088
3	10 745 101	25 462	13 109	35 429	9 180 000	226 055	251 946	1 013 100
4	10 949 561	30 170	13 384	38 427	9 322 246	237 322	261 717	1 046 295
5. 1	837 340	2 609	1 144	3 153	719 734	21 852	22 276	66 572
2	904 908	2 308	1 165	3 451	767 273	19 784	21 540	89 388
3	936 340	2 182	1 190	3 385	793 547	20 871	20 964	94 201
4	918 753	2 433	1 225	3 382	777 630	20 232	22 019	91 833
5	925 384	2 651	908	2 797	790 719	19 756	21 505	87 048
6	991 847	2 840	1 045	2 985	841 301	19 657	21 881	102 137
7	949 051	3 074	1 044	2 966	815 412	20 710	22 586	83 259
8	872 904	3 473	934	3 102	751 484	21 522	22 972	69 417
9	929 836	3 787	983	3 249	809 614	20 900	22 839	68 464
10	916 883	3 334	1 028	3 392	788 578	20 458	22 167	77 926
11	923 236	2 797	1 092	3 594	785 220	20 223	21 935	88 374
12	912 519	2 576	1 102	3 371	759 410	21 669	21 976	102 415
6. 1	829 776	2 709	1 015	2 897	708 462	22 602	23 024	69 068

(注) 数値は東京電力茨城支店の50kW以上の電力販売量である。
なお、東電以外の自家発電は含まれない。

資料：東京電力茨城支店 (TEL0292-25-1511)

10. 石油製品販売量

(単位：kl)

年月	総量	揮発油	ナフサ	ジェット 燃料	灯油	軽油	重油	うち A重油
平成2年	10 922 939	1 293 179	1 817 286	95 258	665 363	945 470	6 106 353	643 214
3	10 657 619	1 359 506	1 689 706	92 951	679 003	1 033 256	5 803 197	648 393
4	11 694 885	1 413 740	2 531 880	80 645	715 438	1 066 285	5 886 897	634 785
4. 11	1 110 731	113 666	287 750	5 619	61 328	91 990	550 378	53 353
12	1 059 166	134 140	215 324	4 610	104 002	98 703	502 387	67 458
5. 1	1 134 737	107 452	304 271	8 302	101 247	74 430	539 035	65 583
2	1 010 254	108 637	240 088	6 550	94 579	89 073	471 327	67 948
3	1 388 873	125 182	458 118	32 050	89 569	103 402	580 552	72 944
4	1 037 075	116 759	261 113	8	57 870	92 988	508 337	51 202
5	825 974	119 565	172 056	4	39 072	82 467	412 810	41 179
6	838 563	115 540	208 384	16	34 775	88 217	391 631	45 108
7	830 647	122 515	175 127	9 796	36 865	93 288	393 056	44 713
8	767 522	126 385	191 356	4 944	37 184	86 762	320 891	40 002
9	771 442	116 809	172 124	5 951	39 878	88 462	348 218	42 219
10	911 211	118 533	310 933	6 065	42 039	92 125	341 516	43 020
11	876 279	119 221	244 416	9 208	60 645	100 125	342 664	55 262

資料：茨城県石油商業組合
(TEL0292-24-2421)

11. 金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
平成2年末	100 036	54 833	67 757	38 468	10 959	6 998	7 610	6 013
3	106 236	60 985	71 851	42 558	11 893	8 198	8 033	6 584
4	109 390	64 891	73 604	44 783	12 457	9 047	8 433	6 908
4.12	109 390	64 891	73 604	44 783	12 457	9 047	8 433	6 908
5.1	106 687	64 652	71 588	44 668	12 241	8 981	8 373	6 861
2	106 583	64 666	71 636	44 685	12 215	8 958	8 364	6 858
3	109 190	65 507	74 406	45 357	12 239	9 012	8 351	6 882
4	106 808	64 519	72 050	44 362	12 167	8 967	8 343	6 844
5	107 574	64 419	72 733	44 140	12 241	8 996	8 398	6 858
6	109 698	64 350	74 513	44 033	12 352	8 998	8 458	6 864
7	109 642	65 331	74 244	44 879	12 461	9 059	8 524	6 904
8	109 113	65 147	73 858	44 619	12 398	9 079	8 512	6 926
9	110 642	66 223	75 263	45 493	12 485	9 182	8 534	6 976
10	108 863	66 038	73 279	45 262	12 466	9 173	8 547	6 979
11	109 091	65 942	73 521	45 194	12 526	9 154	8 521	6 989
12	112 278	67 164	75 418	46 125	12 964	9 299	8 704	7 081

年 月	労 働 金 庫		商 工 中 金		農 協		漁 協	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
平成2年末	2 431	880	200	694	10 897	1 682	182	97
3	2 610	1 043	194	719	11 483	1 788	172	95
4	2 761	1 320	197	746	11 774	2 000	164	88
4.12	2 761	1 320	197	746	11 774	2 000	164	88
5.1	2 746	1 317	191	744	11 384	1 994	165	87
2	2 747	1 351	196	746	11 278	1 999	147	70
3	2 720	1 399	177	749	11 145	2 039	150	69
4	2 718	1 440	220	768	11 169	2 070	141	68
5	2 718	1 463	218	773	11 124	2 122	141	67
6	2 819	1 477	203	766	11 213	2 145	142	66
7	2 843	1 493	190	769	11 238	2 160	141	67
8	2 813	1 514	193	761	11 201	2 180	140	67
9	2 801	1 544	200	767	11 219	2 196	140	65
10	2 796	1 574	219	775	11 412	2 210	144	64
11	2 782	1 586	230	781	11 364	2 172	146	66
12	2 905	1 583	219	811	11 909	2 200	159	66

資料：日本銀行水戸事務所（TEL0292-24-2734）

12. 県内金融経済

年 月	国 庫 金 (億円)		銀 行 券 (億円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不 渡 手 形 (枚)	信 用 保 証 (件)	
	受 入	支 払	発 行	還 収			保 証 承 諾	代 位 弁 済
平成2年	13 720	12 580	10 299	9 580	2 031	2 852	22 581	178
3	16 683	12 014	10 363	10 215	1 943	4 331	25 152	224
4	16 116	13 223	9 999	10 385	1 854	5 536	26 896	316
4.12	1 722	1 064	2 187	848	181	507	4 237	33
5.1	1 564	462	413	1 690	108	173	1 404	27
2	803	522	721	626	142	358	1 702	46
3	1 699	2 459	912	804	175	545	2 808	35
4	1 501	1 832	891	663	146	499	1 743	21
5	1 248	1 409	531	977	143	593	1 847	29
6	1 345	1 515	1 275	742	145	447	3 091	26
7	1 449	578	567	1 029	139	329	2 672	30
8	1 161	437	600	752	158	425	2 132	46
9	1 485	1 246	592	623	141	385	2 613	37
10	940	581	653	509	122	268	2 094	65
11	1 104	1 382	631	626	155	475	2 728	37
12	1 613	1 024	2 099	639	147	241	4 763	81

資料：日本銀行水戸事務所（TEL0292-24-2734）

13. 企業倒産状況

(単位：件、百万円)

年 月	総 数		建 設 業		製 造 業		卸・小売業		そ の 他	
	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
平成2年	51	6 627	8	532	8	890	25	1 910	10	3 295
3	94	27 444	20	5 890	18	7 917	25	4 927	31	8 710
4	123	59 565	28	11 225	30	28 425	32	5 045	33	14 870
4.12	10	3 460	3	2 130	3	600	1	300	3	430
5.1	13	38 260	4	3 210	4	1 580	1	10	4	33 460
2	9	3 620	2	3 000	1	280	3	200	3	140
3	12	3 457	5	1 620	3	560	3	777	1	500
4	11	8 180	5	6 740	2	180	4	1 260	—	—
5	12	4 850	1	200	1	100	7	3 950	3	600
6	12	6 540	4	1 400	2	2 600	2	530	4	2 010
7	13	10 080	3	1 000	1	6 500	5	1 460	4	1 120
8	7	1 014	4	874	1	50	2	90	—	—
9	15	1 725	6	405	2	80	4	910	3	330
10	15	2 210	1	50	2	90	7	1 370	5	700
11	12	3 090	5	1 580	—	—	1	100	6	1 410
12	11	10 560	4	430	1	2 000	2	330	4	7 800
6.1	11	1 760	6	1 060	—	—	4	620	1	80

(注) 負債額1千万円以上。

資料：東京商工リサーチ水戸支店（TEL0292-24-2741）

14. 家計主要指標 (水戸市・全国)

(単位：円, %)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		(6) 消費者 物 価 指 数
	実 収 入	(1) 可 処 分 得	消費支出	(2) 黒 字	貯蓄純増	(3) 平均消費 性 向	(4) 実質実収 入 指 数	(4) 実質消費 支 出 指 数	消費支出	(5) エンゲル 係 数	
水 戸 市											
平成2年	557 680	460 655	348 255	112 400	97 271	75.6	100.0	100.0	337 551	20.4	100.0
3	593 534	490 023	346 967	143 057	122 489	70.8	103.2	96.6	346 114	22.2	103.1
4	640 545	532 805	407 705	125 100	92 931	76.5	109.3	111.4	382 114	20.6	105.1
4.11	478 365	393 900	373 618	20 283	7 416	94.9	81.4	101.8	329 360	23.1	105.4
12	1 552 145	1 324 281	693 164	631 117	565 655	52.3	264.3	189.0	574 752	15.9	105.3
5.1	523 289	430 531	357 123	73 407	△200 276	82.9	88.9	97.2	334 211	19.3	105.5
2	494 028	410 448	322 635	87 813	76 525	78.6	84.0	87.9	289 799	23.4	105.4
3	550 911	414 960	469 396	△54 436	3 218	113.1	93.5	127.6	391 383	18.8	105.6
4	485 745	380 918	379 165	1 753	△81 389	99.5	81.9	102.4	355 960	20.7	106.3
5	461 398	352 969	337 007	15 962	5 434	95.5	77.5	90.7	330 123	25.0	106.7
6	1 011 092	852 246	415 915	436 331	336 459	48.8	170.7	112.5	383 717	19.4	106.2
7	701 660	565 477	404 174	161 303	215 256	71.5	118.5	109.3	362 276	22.2	106.2
8	560 226	463 531	359 687	103 844	89 318	77.6	94.2	96.9	370 064	21.9	106.6
9	474 268	377 943	365 091	12 852	2 355	96.6	79.7	98.3	385 352	19.0	106.7
10	533 997	441 403	321 239	120 164	109 975	72.8	89.4	86.1	371 404	20.4	107.1
11	474 227	379 730	332 590	47 140	31 983	87.6	80.1	90.0	347 332	20.4	106.1
全 国											
平成2年	521 757	440 539	331 595	108 944	74 526	75.3	100.0	100.0	311 174	25.4	100.0
3	548 769	463 862	345 473	118 389	83 104	74.5	101.8	100.9	327 113	25.1	103.3
4	563 855	473 738	352 820	120 918	86 422	74.5	103.0	101.3	333 661	24.7	105.0
4.11	443 283	368 225	327 874	40 351	18 582	89.0	80.8	94.0	311 305	25.2	105.4
12	1 204 531	1 049 289	470 840	578 449	479 292	44.9	219.5	135.0	432 806	24.3	105.4
5.1	438 193	367 370	338 310	29 060	18 535	92.1	79.9	97.1	316 526	22.5	105.3
2	460 181	384 991	318 072	66 919	2 250	82.6	83.8	91.2	298 013	24.8	105.4
3	493 072	412 783	394 651	18 132	6 745	95.6	89.5	112.7	365 787	22.3	105.7
4	480 425	389 697	364 457	25 240	△4 164	93.5	86.7	103.5	342 862	23.1	106.4
5	443 995	350 167	334 114	16 052	2 458	95.4	80.0	94.7	319 368	26.1	106.5
6	764 185	642 211	329 825	312 386	236 213	51.4	137.8	93.6	312 380	25.2	106.4
7	697 058	590 669	374 279	216 391	166 574	63.4	125.4	106.0	345 804	23.8	106.7
8	495 216	414 112	346 500	67 612	17 641	83.7	88.9	97.8	331 950	25.2	107.0
9	444 007	367 410	325 222	42 188	676	88.5	79.6	91.8	308 650	25.7	107.1
10	470 083	393 983	333 528	60 455	35 175	84.7	84.4	94.2	324 955	25.6	107.0
11	447 037	371 555	330 195	41 360	17 655	88.9	80.8	93.9	318 428	24.3	106.4

(注) (1) 実収入－非消費支出 (2) 可処分所得－消費支出
 (3) 消費支出÷可処分所得
 (4) 当該項目(平成2年=100)÷消費者物価指数
 (5) 食料費÷消費支出
 (6) 平成2年=100 持家の帰属家賃を含む総合

資料：総務庁統計局

15. 1カ月1世帯当たりの実収入および実支出 (水戸市, 勤労者世帯)

(単位: 世帯, 人, 歳, 円)

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の 年 齢	実収入	勤め先 取 入			その他の 実 取 入	実支出	消費支出
						うち 世帯主	妻	計			
平成2年	63	3.55	1.64	42.8	557 680	533 608	473 536	50 723	24 071	445 280	348 255
3	63	3.49	1.57	43.5	593 534	565 684	521 212	42 537	27 850	450 478	346 967
4	59	3.57	1.61	44.4	640 545	596 454	542 716	48 592	44 091	515 445	407 705
4.11	59	3.59	1.61	44.8	478 365	458 286	411 989	39 389	20 078	458 082	373 618
12	61	3.57	1.56	45.1	552 145	461 845	353 916	97 262	90 300	921 028	693 164
5.1	62	3.45	1.60	46.3	523 289	455 949	403 447	41 177	67 340	449 882	357 123
2	62	3.52	1.60	46.6	494 028	428 791	364 341	58 802	65 238	406 215	322 635
3	59	3.54	1.56	47.2	550 911	529 052	469 062	58 668	21 860	605 347	469 396
4	59	3.56	1.58	47.1	485 745	444 602	408 756	34 490	41 143	483 992	379 165
5	59	3.53	1.61	47.1	461 398	450 664	401 936	46 389	10 733	445 436	337 007
6	63	3.44	1.62	46.3	1 011 092	954 567	846 623	106 547	56 526	574 760	415 915
7	61	3.54	1.56	45.8	701 660	675 147	591 376	83 115	26 512	540 357	404 174
8	63	3.38	1.65	45.6	560 226	502 898	447 650	53 819	57 328	456 382	359 687
9	64	3.17	1.61	46.2	474 268	461 906	398 968	62 938	12 362	461 416	365 091
10	66	3.23	1.55	45.2	533 997	459 259	396 809	62 147	74 738	413 833	321 239
11	66	3.29	1.53	45.2	474 227	466 585	418 603	47 981	7 643	427 087	332 590

年 月	実 支 出											非消費 支 出
	消 費					支 出						
	食 料	住 居	光熱・ 水 道	家 具・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 通 信	教 育	教 養 娛 楽	その 他 の 消 費 支 出		
平成2年	70 944	19 428	14 391	13 722	25 694	8 862	48 990	12 966	31 808	101 451	97 025	
3	76 752	16 497	15 475	13 725	25 922	8 204	33 617	14 652	31 369	110 755	103 511	
4	78 020	20 314	16 439	15 737	32 210	8 792	47 251	16 279	40 576	132 087	107 740	
4.11	78 455	27 270	15 759	12 628	30 865	7 727	29 775	20 501	37 873	112 765	84 465	
12	96 035	21 299	15 330	22 759	86 056	9 450	86 628	11 380	85 429	258 799	227 864	
5.1	67 169	16 644	18 861	10 102	27 524	9 503	27 719	19 230	35 077	125 296	92 758	
2	68 312	19 145	20 820	9 746	27 431	6 042	25 774	13 413	26 347	105 605	83 580	
3	74 327	22 247	19 539	9 627	30 603	8 139	97 127	34 188	32 781	140 818	135 951	
4	71 789	19 885	18 020	17 543	25 237	8 237	31 259	23 776	34 562	128 855	104 827	
5	80 444	15 714	16 900	10 521	23 031	8 305	30 203	9 075	36 643	106 170	108 429	
6	72 981	26 258	15 090	10 200	23 847	11 914	101 942	20 236	28 966	104 480	158 846	
7	78 421	18 436	14 867	12 211	24 005	9 503	60 848	13 260	60 096	112 526	136 183	
8	77 730	18 734	14 911	14 358	19 079	7 217	45 539	5 408	64 328	92 382	96 695	
9	70 451	19 192	13 470	9 270	17 924	10 903	82 720	9 462	33 866	97 832	96 325	
10	73 645	16 665	16 222	9 737	19 069	12 045	38 440	13 068	32 600	89 747	92 594	
11	71 509	21 690	13 380	13 404	31 317	10 479	40 649	12 990	29 922	87 252	94 497	

資料: 総務庁統計局

16. 消費者物価指数（水戸市）

（平成2年=100）

年 月	総 合	対前年 (月) 上昇率 (%)		食 料	穀 類	魚 介 類	肉 類	野 菜 ・ 海 草	外 食	住 居
		対前年 同上	対前年 同上							
平成2年	100.0	3.1	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	103.1	3.1	—	104.7	103.2	102.6	103.7	112.5	103.0	104.3
4	105.1	1.9	—	105.7	107.5	103.0	104.0	100.8	108.4	109.1
5.1	105.5	0.2	1.3	105.1	108.1	102.2	103.1	98.8	108.6	110.5
2	105.4	△ 0.1	1.2	105.6	107.6	103.1	103.3	102.2	109.3	111.7
3	105.6	0.2	0.9	105.9	106.9	107.5	103.2	100.8	109.3	111.8
4	106.3	0.7	0.5	105.8	107.2	108.5	102.2	103.6	109.3	112.7
5	106.7	0.4	0.8	105.5	106.2	107.7	101.8	99.0	109.3	113.8
6	106.2	△ 0.5	0.6	103.8	106.2	101.8	100.4	95.7	109.3	114.0
7	106.2	0.0	1.5	105.6	106.4	105.3	100.3	106.9	109.3	114.0
8	106.6	0.4	1.7	107.8	106.4	109.1	99.6	115.2	109.3	113.3
9	106.7	0.1	1.3	105.9	105.7	100.1	99.2	115.4	109.3	113.3
10	107.1	0.4	1.1	106.1	107.3	105.1	99.2	108.9	109.3	114.0
11	106.1	△ 0.9	0.7	103.8	111.4	103.0	96.8	91.9	109.3	114.1
12	106.2	0.1	0.9	104.6	111.4	104.4	96.2	99.7	109.3	114.0
6.1	105.9	△ 0.3	0.4	106.6	111.3	108.8	93.9	112.7	109.3	114.0

年 月	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及び 履物	保 健 医 療	交 通 通 信	自動車等 関係費	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費	生鮮食品 を 除 く 総 合
3	102.4	99.8	104.7	98.9	100.6	100.5	103.4	103.5	101.1	102.9
4	102.1	100.9	109.7	100.9	99.5	99.3	106.1	107.8	102.9	105.5
5.1	102.3	101.6	110.6	100.9	100.1	99.9	106.8	108.6	103.7	106.2
2	102.3	101.9	105.7	100.9	100.2	100.0	106.8	108.8	103.9	105.9
3	102.4	101.4	107.9	101.4	100.2	100.0	106.8	108.5	103.9	106.2
4	102.4	101.1	112.0	101.8	100.3	100.1	109.6	109.3	102.5	106.9
5	102.4	101.5	115.1	101.8	100.3	100.1	110.1	109.4	102.5	107.4
6	102.4	101.6	115.3	101.9	100.2	100.0	110.1	109.2	102.6	107.4
7	102.4	100.7	110.7	101.7	100.3	100.1	110.1	109.2	102.2	106.9
8	102.4	101.9	107.3	101.8	100.3	100.1	110.1	109.5	102.3	106.6
9	102.4	101.8	116.0	102.1	100.2	100.0	110.1	108.8	101.5	107.2
10	102.4	102.0	118.0	101.7	100.3	100.0	110.1	109.3	100.6	107.7
11	101.7	101.2	116.7	101.6	99.4	100.0	110.1	109.3	100.4	107.4
12	101.4	99.9	116.2	101.9	99.5	100.0	110.1	109.3	100.8	107.3
6.1	101.4	99.4	107.2	101.7	99.2	99.6	110.1	109.6	100.7	106.2

(注) (1) 水戸市の指数は、後日総務庁統計局が公表する指数と異なる場合もある。
 (2) 「総合指数」は、持家の帰属家賃を含む総合指数である。

資料：県統計課

17. 卸売物価指数（国内）

（平成2年＝100）

年 月	総平均	対前月	対前年	食 料 品	製 材 ・ 木 製 品	鉄 鋼	化学製品	石 油 ・ 石 炭 製 品	電 力 ・ 都 市 ガ ス ・ 水 道
		上 昇 率 （%）	（同月） 上 昇 率 （%）						
平成2年	100.0	—	1.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	101.0	—	1.0	103.1	99.1	101.4	103.0	102.3	100.1
4	100.1	—	△ 0.9	104.4	98.6	99.8	98.7	96.3	100.1
4.12	99.6	0.0	△ 1.0	104.8	100.0	98.2	97.5	96.4	98.9
5.1	99.5	…	…	104.2	102.7	97.9	97.3	95.7	98.9
2	99.4	…	…	104.4	106.8	97.5	97.1	94.7	98.9
3	99.2	…	…	104.1	109.9	97.0	96.7	93.7	98.9
4	99.0	…	…	104.1	110.8	96.4	96.3	93.4	99.2
5	98.8	…	…	103.9	111.4	95.9	96.0	93.0	99.2
6	98.6	…	…	103.5	111.6	95.5	95.8	92.5	99.3
7	98.6	…	…	103.6	110.2	95.2	95.3	91.7	104.4
8	98.4	…	…	103.4	109.1	94.7	95.2	90.7	104.4
9	98.2	…	…	103.9	107.6	93.9	95.0	89.8	104.4
10	97.8	…	…	104.1	106.5	93.4	94.9	89.0	99.2
11	97.6	…	…	104.1	106.2	92.8	94.8	88.9	97.5
12	97.5	…	…	104.7	106.3	92.5	94.6	88.6	97.5

資料：日本銀行調査統計局

18. 生活保護

年度・月	被保護 世帯	被保護 実人員	保護率 （%）	生活扶助 人 員	住宅扶助 人 員	教育扶助 人 員	医療扶助 人 員	その他扶助 人 員
平成2年度	6 214	9 843	3.5	8 106	5 477	1 455	6 948	9
3	5 993	9 113	3.2	7 260	5 100	1 171	6 530	17
4	5 893	8 708	3.0	6 830	4 833	1 022	6 418	14
5.1	5 890	8 679	3.0	6 784	4 811	1 000	6 432	9
2	5 890	8 676	3.0	6 773	4 798	996	6 453	24
3	5 921	8 725	3.0	6 827	4 829	1 001	6 503	48
4	5 933	8 709	3.0	6 797	4 837	960	6 433	9
5	5 911	8 641	3.0	6 740	4 788	915	6 534	13
6	5 918	8 651	3.0	6 725	4 764	907	6 529	10
7	5 932	8 662	3.0	6 740	4 762	913	6 460	5
8	5 958	8 679	3.0	6 777	4 774	923	6 491	13
9	5 946	8 627	3.0	6 757	4 742	913	6 485	7
10	5 957	8 675	3.0	6 800	4 787	937	6 497	5
11	5 979	8 711	3.0	6 847	4 829	933	6 554	7
12	6 000	8 729	3.0	6 869	4 870	940	6 559	8
6.1	6 009	8 728	3.0	6 866	4 893	933	6 561	9

（注）(1) 停止中も含む
(2) その他は、生業、出産、葬祭扶助である。

資料：県社会福祉課

19. 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受付 件数	内 容 別 相 談 件 数 (延)													
		安 全 衛 生	役 務 品 機 器	質 量 問 題	法 規 基 準	価 格 金 額	計 量 目 的	表 示 告 白	販 売 方 法	契 約 (解 約)	接 客 対 応	包 装 器 器	施 設 備 備	買 物 相 談	生 活 知 識
平成2年	3 606	142	405	20	314	9	139	913	1 177	604	2	1	300	1 146	318
3	3 880	77	320	13	278	5	107	820	1 077	425	4	—	279	1 238	742
4	4 199	50	298	5	252	4	92	876	1 147	364	—	—	273	1 410	883
4.12	347	4	24	—	18	—	6	60	69	28	—	—	16	129	90
5.1	280	3	13	1	7	—	6	52	74	18	—	—	15	102	70
2	381	3	22	—	21	—	5	76	95	24	—	—	28	133	80
3	419	3	14	2	29	—	4	84	88	18	—	—	27	184	75
4	403	3	20	—	27	1	8	72	109	32	—	—	32	139	88
5	400	5	17	2	20	—	8	75	83	25	—	—	43	122	109
6	437	6	25	1	28	—	22	113	130	34	—	—	34	141	95
7	461	3	15	1	25	—	28	129	151	34	—	—	27	137	106
8	418	5	26	—	26	1	14	104	115	45	—	—	30	133	98
9	450	5	24	3	26	—	47	100	135	42	—	—	27	140	100
10	410	4	11	1	26	—	32	126	145	35	—	—	30	110	94
11	420	1	15	1	30	—	12	90	96	28	—	—	36	132	122
12	381	4	23	—	23	—	17	89	104	25	—	—	40	123	79
6.1	399	9	11	3	18	—	12	90	103	26	—	—	36	151	81

資料：県消費生活センター（TEL0292-24-4722）

20. 建築主別建築着工

(単位：千㎡，百万円)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会社その他の法人		個 人	
	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額
平成2年	8 397	1 447 676	590	113 996	4 204	686 192	3 600	467 490
3	7 783	1 259 638	459	115 750	3 717	648 712	3 605	495 175
4	7 235	1 138 399	564	116 082	2 979	497 457	3 695	524 860
4.12	521	84 213	47	11 711	162	28 469	312	44 034
5.1	440	68 383	38	8 161	155	24 717	247	35 505
2	541	81 289	34	7 027	210	31 918	296	42 344
3	462	69 164	37	7 219	147	22 371	279	39 574
4	409	61 242	15	3 618	127	20 098	266	37 526
5	491	72 549	36	7 133	178	24 843	277	40 572
6	744	112 702	43	11 021	353	50 422	348	51 259
7	658	95 426	21	4 468	272	36 076	366	54 883
8	595	94 542	43	9 537	196	32 057	356	52 947
9	612	94 632	33	8 553	226	32 211	354	53 868
10	516	82 285	32	7 193	146	23 657	338	51 435
11	451	69 703	37	7 480	132	20 026	281	42 198
12	481	74 864	31	6 165	174	27 168	275	41 531

(注) 官公庁とは、国、県、市町村を加えたものである。

資料：建設省建設経済局

21. 着工新設住宅（利用関係別）

（単位：戸，㎡）

年 月	総 数		持 家		貸 家		給与住宅		分譲住宅	
	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積
平成2年	42 800	3 809 521	16 012	2 125 716	17 476	823 123	865	59 786	8 447	800 896
3	40 250	3 579 353	16 124	2 081 911	15 537	720 694	1 071	66 888	7 518	709 860
4	39 450	3 432 652	15 903	2 125 405	17 816	784 459	687	48 829	5 044	473 959
4.12	3 595	294 259	1 219	166 430	1 861	84 242	19	1 385	496	42 202
5.1	2 652	229 816	1 053	141 794	1 255	55 891	34	2 332	310	29 799
2	2 669	257 286	1 316	182 507	919	41 919	9	1 078	425	31 782
3	2 403	236 697	1 231	172 133	920	41 148	41	2 869	211	20 547
4	2 502	236 329	1 249	170 242	994	41 924	22	1 244	237	22 919
5	2 821	266 737	1 288	176 115	1 084	51 203	34	2 766	415	36 653
6	3 441	337 700	1 640	223 688	1 246	55 956	20	2 032	535	56 024
7	4 006	375 800	1 801	243 957	1 334	57 206	29	2 095	842	72 542
8	3 361	327 695	1 827	239 676	1 120	47 328	13	1 240	401	39 451
9	3 522	333 111	1 800	240 002	1 257	53 555	74	4 515	391	35 039
10	3 070	305 471	1 736	237 799	1 073	44 763	26	1 639	235	21 270
11	3 269	282 833	1 284	172 833	1 563	70 134	35	2 708	387	37 158
12	3 059	266 546	1 318	172 623	1 422	64 337	38	2 677	281	26 909

資料：建設省建設経済局

22. レジャー状況

（単位：円，件，人，台）

年 月	勤労者世帯（水戸市）		旅券発行件数 （観光訪問・その他 個人的目的）	大洗水族館 利用者数	筑波パープルライン利用台数				
	外 食 費	教養娯楽費 （印刷物・視聴観覧 料・旅行費等）			筑波スカイライン			表筑波スカイライン	
					二輪車	乗用車	バス・その他	乗用車	その他
平成2年	11 936	31 538	96 813	※630 459	※10 532	※242 154	※6 663	※243 112	※17 430
3	13 884	31 369	93 203	※657 360	※ 9 660	※223 954	※5 683	※226 698	※12 710
4	14 181	40 576	100 057	※638 918	※ 9 803	※236 933	※5 563	※239 131	※12 078
4.12	19 778	85 429	6 782	16 217	482	11 150	126	9 898	284
5.1	14 287	35 077	7 384	37 004	375	16 603	139	19 166	260
2	12 972	26 347	7 083	34 193	471	13 029	146	12 731	277
3	12 268	32 781	8 041	49 106	705	17 162	208	16 746	352
4	11 114	34 562	7 980	41 340	813	18 238	603	17 324	367
5	13 254	36 643	8 012	86 446	1 081	26 638	1 042	28 684	509
6	12 321	28 966	9 474	43 877	689	13 988	532	12 523	301
7	14 054	60 096	9 522	66 619	525	11 077	333	9 980	338
8	14 601	64 328	9 713	145 329	1 091	26 025	301	22 881	378
9	11 810	33 866	8 244	35 906	1 062	20 011	370	19 553	394
10	13 336	32 600	8 539	43 634	897	25 537	789	29 454	550
11	13 505	29 922	7 947	33 696	672	23 899	600	25 046	380
12	7 072	16 298	433	10 325	116	8 691	253

- （注）（1）「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため対象は水戸市内の少数世帯に限られている。
 （2）筑波スカイライン利用台数は風返し料金所を通過したもの。また貨物、路線バスも含まれる。
 （3）※は年度数値。

資料：総務庁統計局 県国際交流課
 大洗水族館（TEL0292-67-5151）
 県道路公社（TEL0292-26-1280）

23. 交通事故発生件数

(単位：人、件)

年 月	発生件数	死 者	負 傷 者	原 因 別 発 生 件 数							
				安 全 運 転 義 務 違 反			酒 酔 い	最 高 速 度 違 反	追 越 し	徐 行	一 時 停 止 違 反
				わ き 見 方 前 注 視	安 全 速 度	ハ ン ド ル プ レ ー キ 操 作 不 適 当					
平成2年	14 410	450	18 522	7 538	870	500	155	318	161	648	864
3	15 880	459	20 162	8 017	857	684	133	510	157	594	919
4	19 122	481	23 281	10 027	999	1 144	121	585	187	642	984
5. 1	1 431	41	1 788	758	49	84	13	44	4	41	80
2	1 525	53	1 850	775	73	93	14	48	16	60	64
3	1 697	52	2 060	833	77	106	9	46	17	50	84
4	1 660	39	1 940	882	89	93	7	38	19	53	67
5	1 678	34	2 016	854	91	99	9	61	23	49	102
6	1 762	48	2 134	853	126	112	8	55	15	66	98
7	1 744	41	2 049	854	142	115	9	43	13	58	120
8	1 799	30	2 216	928	127	113	8	54	8	76	110
9	1 634	31	1 919	880	111	103	4	36	11	61	79
10	1 875	40	2 235	1 014	123	126	8	47	13	59	106
11	1 821	35	2 153	986	116	93	5	47	14	52	106
12	2 052	50	2 406	1 143	129	123	19	60	17	56	95
6. 1	1 659	38	1 989	820	203	138	10	48	9	29	69

(注) 原因別発生件数はうち書のため、その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

24. 自動車保険請求相談

(単位：件)

年 月	総 数			自 賠			保 障			任 意		
	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他
平成2年	811	367	502	394	200	310	26	3	5	368	145	57
3	1 029	357	465	429	155	311	39	7	11	559	192	25
4	1 200	374	281	385	124	133	33	8	8	781	240	23
5. 1	93	35	16	33	8	13	1	4	—	59	23	—
2	100	38	18	36	8	7	—	3	—	63	27	5
3	91	24	6	28	11	4	3	—	—	60	13	—
4	89	19	15	17	1	1	4	—	—	20	7	—
5	80	26	10	6	5	1	2	—	—	21	4	—
6	65	18	5	14	3	—	—	—	—	8	2	—
7	95	19	20	25	8	2	4	1	—	48	9	1
8	97	24	6	27	7	1	1	—	—	58	16	2
9	100	28	12	18	5	4	7	—	1	62	14	—
10	76	30	10	8	7	—	1	—	—	44	13	—
11	82	46	18	12	9	6	1	—	1	53	21	—
12	91	44	6	19	15	—	3	—	—	59	21	1
6. 1	81	30	2	14	7	—	5	—	—	62	18	1

(注) (1) 自賠、保障、任意はうち書のため総数と合計は一致しない。

(2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険。保障＝政府保障事業で、保険によらず直接運輸大臣あて請求するもの(無保険・引き逃げ)。任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車
保険請求相談センター
(TEL 0292-26-1693)

25. 刑法犯罪発生件数

(単位：件)

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
平成2年	27 579	113	735	25 352	959	84	336
3	30 246	131	529	28 361	795	82	348
4	33 001	151	526	30 811	1 088	84	341
5. 1	2 209	11	25	2 102	55	4	12
2	2 602	8	66	2 431	79	2	16
3	2 885	18	40	2 718	77	4	28
4	2 987	8	78	2 799	70	2	30
5	2 963	11	51	2 823	45	3	30
6	3 056	13	39	2 823	144	9	28
7	2 847	13	32	2 684	81	15	22
8	2 860	16	29	2 734	42	2	37
9	3 019	6	37	2 895	50	6	25
10	2 852	9	45	2 726	43	6	23
11	2 829	14	35	2 628	120	2	30
12	3 107	7	61	2 770	216	8	45
6. 1	2 278	10	33	2 085	122	3	25

資料：県警察本部刑事総務課

26. 火災発生件数

(単位：件、世帯、人、棟)

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹災人員数	死 傷 者 数		焼損棟数	焼 損 面 積		損害額 (千円)
				死 者	負 傷 者		建 物 (m ²)	林 野 (a)	
平成2年	1 497	722	2 362	45	170	1 246	54 625	897	5 359 543
3	1 597	686	2 310	51	147	1 266	52 479	24 989	5 752 056
4	1 647	695	2 261	52	213	1 242	59 674	3 214	6 371 844
5. 1	127	60	164	2	15	98	4 269	72	604 628
2	259	97	287	5	17	148	7 051	828	973 895
3	241	82	209	6	24	146	7 466	352	870 654
4	225	82	255	5	20	141	5 695	790	501 015
5	147	65	187	4	8	124	5 585	153	377 834
6	94	44	148	6	6	85	3 214	4	223 449
7	68	46	153	7	6	63	3 408	—	272 891
8	91	39	123	—	7	80	3 780	—	345 855
9	82	39	142	—	7	72	2 992	—	271 752
10	99	43	113	4	13	68	3 696	2	549 034
11	89	51	144	4	12	84	4 025	—	253 397
12	126	54	138	8	12	86	3 924	3	240 102
6. 1	144	49	140	8	14	96	4 026	92	298 460

資料：県消防防災課

「編集後記」

統計課・普及指導グループ

主事 篠田幸子



月日の経つのは早いもので、統計課に異動となり、私がこの「統計いばらき」の担当となって一年が過ぎようとしています。

当初は、統計課の部屋の広さ、人数の多さ、そして刊行物等の発送の多さに驚いたものでした。そして、私の統計課での初仕事は、刊行物の発送であり、本庁舎の文書室まで(約100m)を何度も往復しなければならず、何と腕力のいる所だろうと身にしみて思ったことを覚えています。

また、「統計いばらき」の編集発行という苦手な分野の担当となり、平成6年3月号を発行するまでが遠い道のりのように思えました。御蔭様で、関係者の皆様の御指導、御協力により、無事にこの3月号にたどり着くことができ、今はちょっと安心しているところです。振り返ってみると、長かったようでいて短かったような、何度も迷路に入り込みながらどうにか出口に出てこられた、という心境です。

ところで、この「統計いばらき」は、今月号で480号になりますが、記念すべき第1号は、昭和28年1月に創刊され、41年も続く伝統のあるものです。そして、これらは全て、本庁舎地下にある行政情報センター・資料コーナーに大切に保管され、閲覧できるようになっています。

また、毎月840部を発行し、庁内関係課、出先機関、国、都道府県、市町村、図書館、公共機関、統計協会会員等多数に配布しています。

ですから、多くの方の目に触れ、長期に保存されるということを考えると、恐ろしくもあり、また、自分の仕事が印刷物となって成果を確認できるという嬉しい部分もある大変緊張感のある仕事

だと感じています。

編集にあたっては、一字一句間違いのないよう慎重に、そして、内容的に堅い調査結果等を、できるだけ視覚的に分かり易いようグラフを多く掲載したり、濃淡をつけるなど気をつけてきたつもりです。いかがだったでしょうか。

各号、それぞれ苦労をしながら発行してきましたが、特に一番大変だったのは、巻頭を飾る「歳時記」のコーナーです。これは文字通り、発行月に因んだコメントと写真を掲載する訳ですが、今年度は、前任者に引き続き、花シリーズを進めてきました。出来上がったものは大したものではないのですが、興味を引きそうなコメント、歌、花の写真と、三つが揃ったものを選んで原稿を書き、写真を撮るという作業が、私には大変労力を要するものでした。

特に写真では、まだ白黒であるためごまかせる部分もありますが、うまくいかず、何度か撮り直しをしたり、足元の不安定な所に分け入って撮ってきたことなどもありました。

「歳時記」の原稿をつくることで、多少季節に敏感になったような気がしますが、4月号以降、また何を題材にするか、今から頭の痛い問題です。

さて、発送で始まったこの一年、今年度の私の仕事は、やはり発送で終わることになりそうです。どうやら、この一年で一番収穫のあったのは、腕力が増進(?)したことではないでしょうか。

一年間の御愛読、御協力本当にありがとうございました。そして、引き続き4月以降も担当することになりましたので、よろしくお願ひします。

【新着資料案内】 【新着資料案内】

この資料は、平成6年2月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。
行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係			
地域メッシュ統計地図 階級メッシュ・マップ (その1, 人口総数)	総務庁	業務報告書 平成4年度	工業技術センター
化学技術白書 平成5年版	科学技術庁	工業技術センター研究報告 第21号	"
漁業の動向, 茨城県 平成5年度	関東農政局	労働組合名簿, 茨城県 平成5年	労政課
畜産統計 (平成5年2月1日調査)	農林水産省	蚕業研究所年報 平成4年度	蚕業研究所
郵政行政統計年報 平成4年度郵便編	郵政省	蚕業研究所研究報告 第1号	"
職業安定, 職業能力開発行政組織 平成5年度	労働省	水産試験場業績集, 茨城県 1992年	水産試験場
茨城県関係			
決算状況調査表 平成3年度	財政課	図書館概要 平成5年度	県立図書館
県議会定例会議案 平成6年第1回 ①	"	県内市町村関係	
県議会定例会議案概要説明書 平成6年第1回 ③	"	統計かみす 1993	神栖町
予算に関する説明書 平成6年度 ②	"	都道府県関係	
県政白書 '93	企画調整課	賃金・労働時間及び雇用の動き 平成4年版	福島県
県民選好度調査報告書 平成5年度	"	群馬県鉱工業指数 平成2年基準	群馬県
県民選好度調査集計表 平成5年度	"	埼玉県鉱工業指数年報 平成4年 平成2年基準	埼玉県
茨城県の児童・生徒の体格と疾病 平成5年度	統計課	埼玉県統計年鑑 平成5年	"
旅券事務の概要	国際交流課	千葉県鉱工業指数年報 平成4年 平成2年基準	千葉県
消防防災年報 平成5年	消防防災課	千葉県メッシュ統計報告 平成3・4年商業統計調査	"
公害苦情件数調査結果報告書 平成4年度	公害対策課	東京都昼間人口の予測	東京都
公共用水域及び地下水の水質測定結果 平成4年	"	富山県鉱工業指数年報 平成4年 平成2年基準	富山県
国民健康保険事業状況 平成4年度	医療福祉課	京都府行政情報資料目録 平成5年4月1日現在	京都府
衛生行政の概要 平成5年度版	医務課	京都府の勤労統計 平成4年	"
		会社・公社・団体等関係	
		自動車保有車両数 平成5年3月末現在	自動車検査登録協会

経 済 動 向

国内の動き

● 経常黒字 最高の1313億ドル

大蔵省が発表した93年の国際収支速報によると、経常収支の黒字額は前年比11.7%増の1313億5000万ドルとなり、92年に続いて過去最高水準を更新した。貿易収支の黒字額も同6.9%増の1414億2900万ドルとなり、過去最高を記録した。ただ円表示の経常黒字額、貿易黒字額はそれぞれ3年ぶりに前年の実績を下回った。

貿易収支の内訳をみると、93年の輸出額は前年比6.2%増の3512億7900万ドル。輸出数量は同0.5%の減少だったが、昨年2月以降の急激な円高に対応して、輸出企業がドル建ての輸出価格を引き上げた結果、金額は増加した。品目別にみると、半導体や船舶、自動車部品などが好調だった。(2月8日付 日経)

● 昨年の住宅着工 5.9%増の148万戸

建設省が発表した建築着工統計によると、93年の新設住宅着工戸数は前年比5.9%増の148万5684戸で、2年連続のプラスとなった。貸家は1.2%減の66万3608戸と不振だったが、持ち家が11.2%増の53万1034戸、分譲住宅(一戸建てとマンションの合計)が19.5%増の25万9381戸といずれも

好調だった。金利低下で資金借入れが有利になったことが主因。

一方、12月の新設住宅着工戸数は12万5850戸で、前年同月比4.9%増だった。(2月1日付 日経)

● 行政投資 91年度 最高の40兆円

自治省のまとめによると、国や地方自治体などが91年度に道路、住宅、下水など公共事業に投じた費用を集計した行政投資は、前年度に比べ9.6%増の40兆3362億円と過去最高を更新した。地方自治体を中心に、道路や都市計画に積極的に投資したためだ。伸び率も13年ぶりの高水準になった。

91年度の行政投資額を事業別にみると、道路が全体の26.4%と最も大きなウエイトを占め、文教施設(9.1%)、農林水産(8.3%)、国土保全(8.2%)などが続く。

投資額の伸び率をみると、都市計画が15.8%増、下水道が10.5%増、環境衛生が23.0%増と、生活関連の社会資本への投資が2ケタ増えている。(2月20日付 日経)

県内の動き

● 常陸那珂港 計画見直し

茨城県は、北関東地区の新たな中枢港湾として整備中の常陸那珂港の当初計画を見直す。海上輸送の主流が計画時とは違ってコンテナ方式に変わっているため、未着工の3つの埠頭の形、機能を変更する一方、埠頭用地もコンテナ船に便利なように拡大する。これに併せて、港内の緑地のあり方なども見直す。

同港は、常陸那珂地区で開発が進められている常陸那珂国際港湾公園都市の海の玄関ともなるもので、事業主体は国と県。4つの埠頭と防波堤、港湾関連用地などからなり、埠頭用地や発電所を設置する第四埠頭と防波堤は、98年の第一船入港を目指して整備が進められている。

(2月25日付 日経)

● 環境共生型目指す つくばハイテクパークいわい

県が「環境共生型」を掲げて進めている工業団地「つくばハイテクパークいわい」の起工式が、岩井市幸田の現地で行われた。

指す。

県の事業としては鹿島臨海工業地帯、筑波北部・南部に次ぐ工業団地で、「首都40キロ圏、筑波研究学園都市から15キロの新産業拠点」をキャッチフレーズとしている。

(2月24日付 茨城)

この工業団地は、現況樹林の移植、生態系に配慮した公園、調整池の整備など「自然を大切に環境の創出」がテーマ。面積85.2ヘクタールで、95年度末の分譲開始を目